

## 4. 土地利用動向

---

### ○ 小中学校の適正規模化に伴う 3 学校用地の土地利用転換

生徒数の減少等により小中学校の適正規模化が進む中、対象地である伏虎中学校の他、本町小学校、雄湊小学校においても学校用地の土地利用転換を進めています。

### ○ 公共施設の耐震性の問題や老朽化の進行に伴い再整備の一環として、市民会館、図書館の建替え等を検討中

本市では、公共施設の耐震性の問題や老朽化の進行により、再整備が求められています。

市民会館、図書館は建築年度が古く、再整備の対象となっており、建替え等を検討しています。

### ○ 南海和歌山大学前駅に大型商業施設が立地する一方で、南海和歌山市駅では百貨店が撤退

郊外部の南海和歌山大学前駅に大規模な商業施設イオンモールが立地する一方で、南海和歌山市駅前の百貨店が平成 26 年 8 月をもって撤退し、中心市街地から大型の商業施設が少なくなっています。

### ○ 市街地再開発事業によるまちなかの再整備の推進

南海和歌山市駅前については、民間の市街地再開発事業が進行しています。計画では、駅舎、駅ビルの建替えとともに、駅前広場、図書館の整備を進めています。

また、北汀丁でも市街地再開発事業の計画があり、福祉施設、専門学校、マンションの整備が計画されています。

## 5. 市民意向

### 5.1. 市民アンケート

以下については、平成 25 年 8 月に実施した「市役所周辺公共施設の再整備方針の策定に係る市民アンケート調査」から結果を抜粋して掲載します。

調査名：市役所周辺公共施設の再整備方針の策定に係る市民アンケート調査

調査日：平成 25 年 8 月

調査対象：18 歳以上の市民に郵送アンケート

回収率：回答数 1,174 件 / 3,000 件 (39.1%)

調査内容：市役所周辺の公共施設、公共施設の再整備、まちなか居住、来訪者を増やす方法

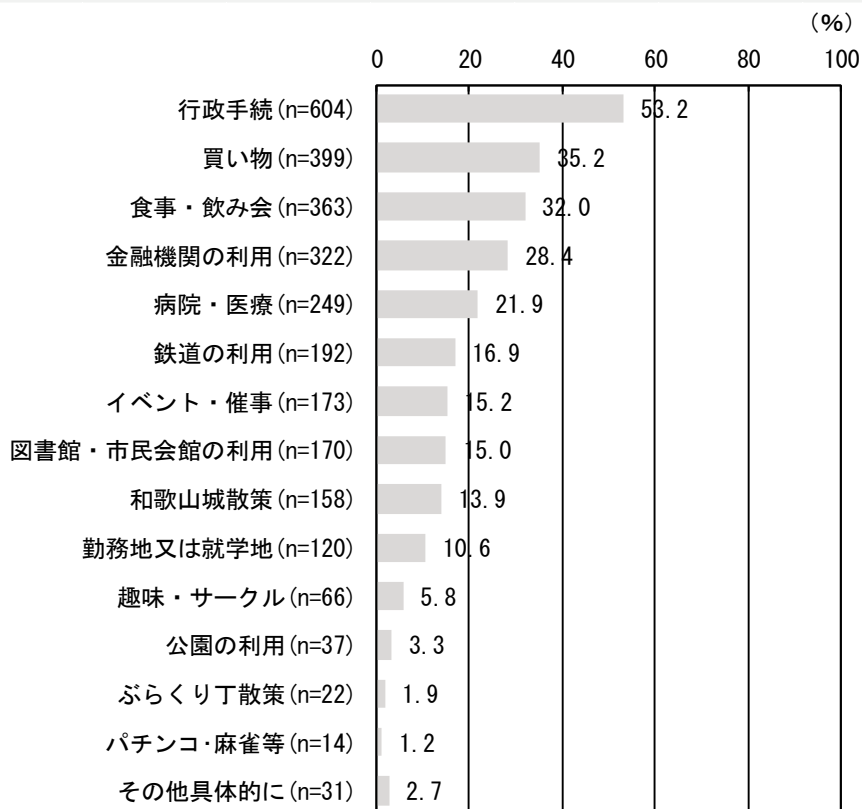
#### ○ 中心市街地への来訪目的は、半数が市役所への来庁

普段、中心市街地に訪れる目的は、「行政手続」が最も多く 53.2%を占め、次いで「買い物」35.2%、「食事・飲み会」32.0%や「金融機関の利用」28.4%と続いています。

図表 5.1 市民意向：普段、中心部に訪れる目的

あなたが普段【まちなかエリア】に訪れる目的は何ですか（3 つまで複数回答）

N=1,135

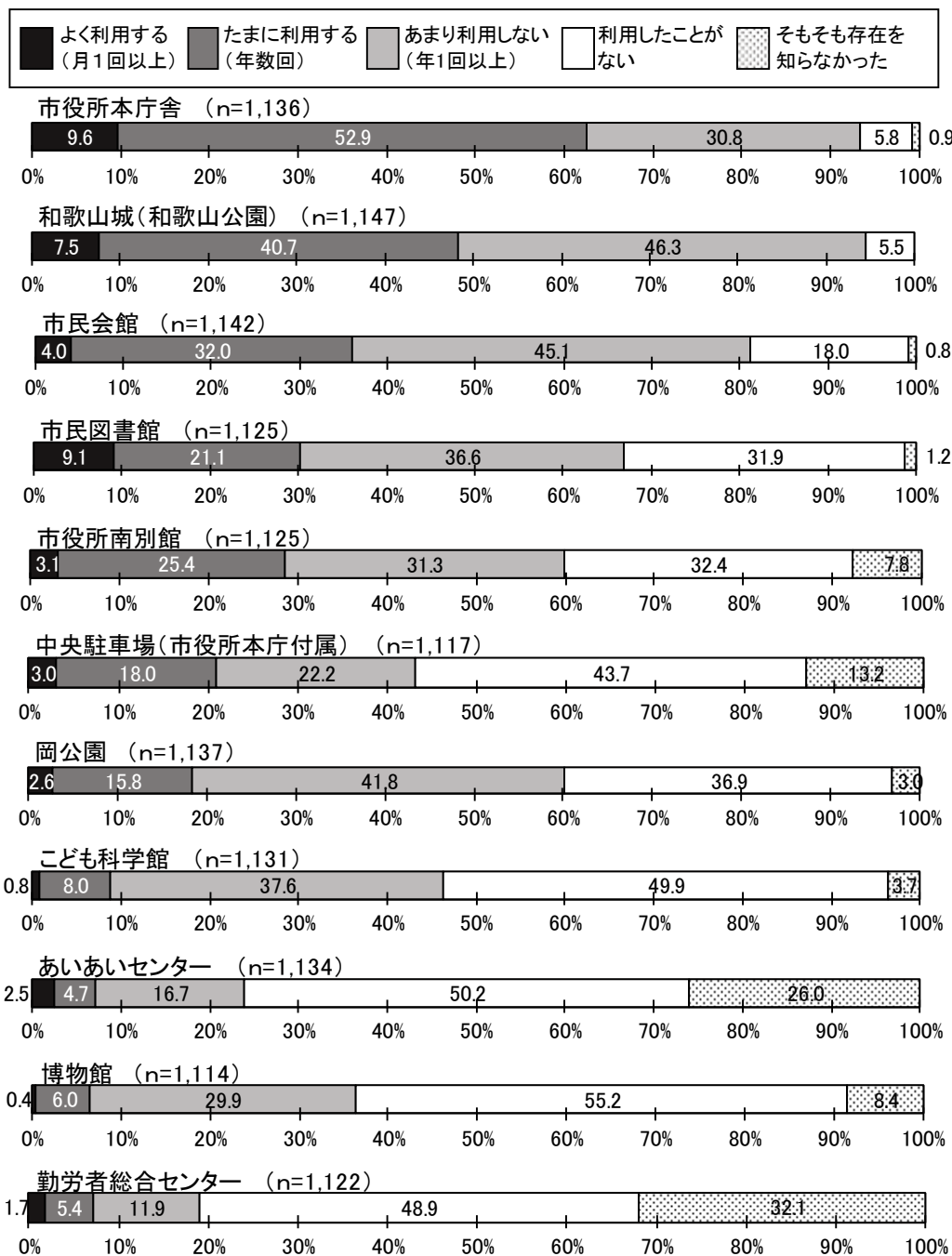


○ 市民がよく利用する公共施設は「市役所」「和歌山公園」「市民会館」

市役所周辺にある公共施設の利用頻度は、市役所と和歌山公園が最も多く約9割が年に1回以上利用し、それぞれ約6割、約5割が年に数回利用しています。次に利用頻度が多いのは、市民会館で、約8割が年に1回以上利用し、約4割が年に数回利用しています。

図表 5.2 市民意向：市役所周辺にある公共施設の利用頻度

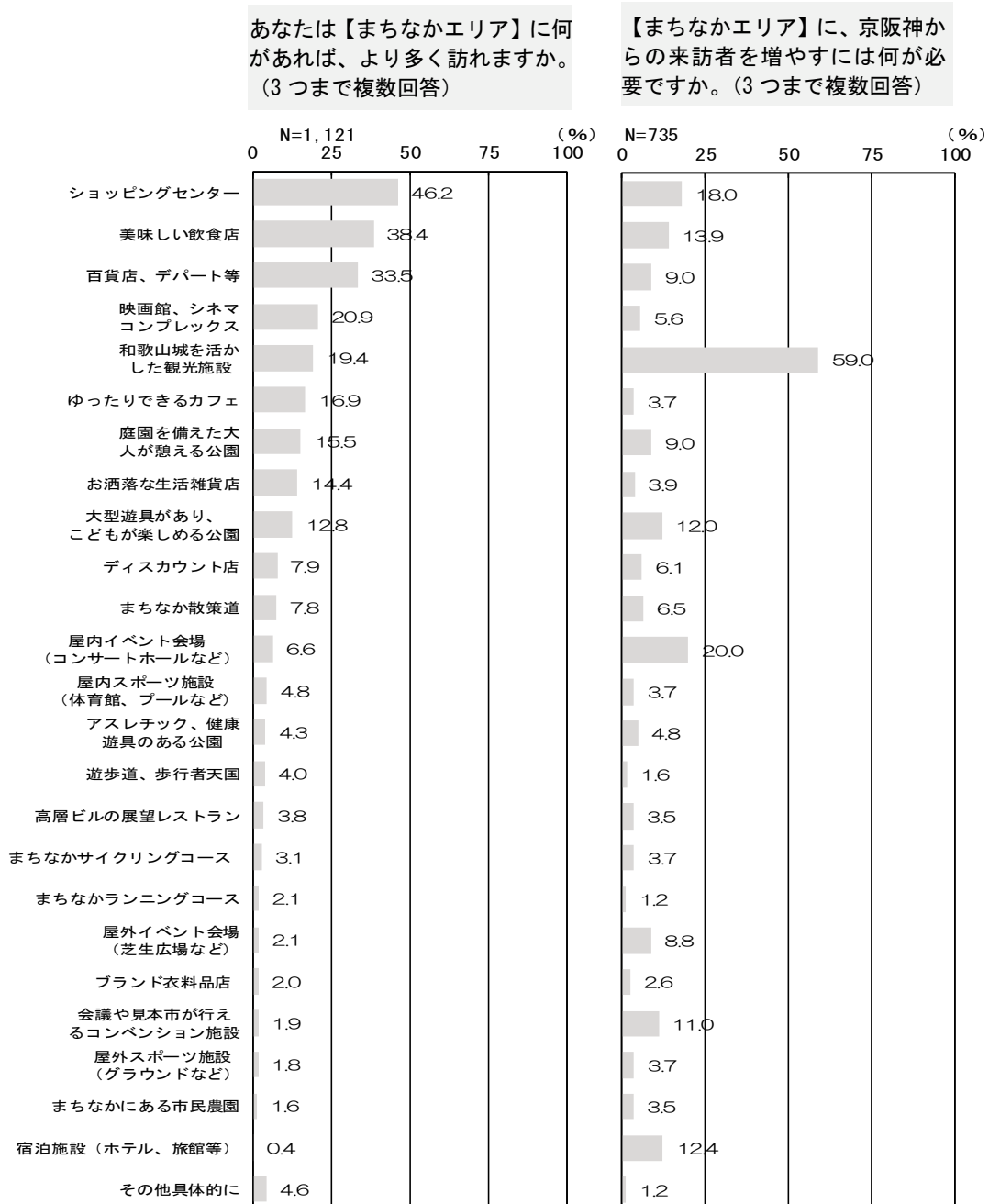
市役所周辺にある以下の公共施設の利用頻度は、次のどれにあてはまりますか（単一回答）



- 中心部には「ショッピングセンター」「美味しい飲食店」「百貨店・デパート」が望まれている
- 来訪者を増やすには「和歌山城を活かした観光施設」が必要という考えの人が多い

中心部に何があれば、あなたはより多く訪れますかの問いに対して「ショッピングセンター」「美味しい飲食店」「百貨店・デパート」とする回答が多くありました。京阪神からの来訪者を増やすために何が必要ですかの問いには「和歌山城を活かした観光施設」と考える市民がもっとも多く、続いて「屋内イベント会場」「ショッピングセンター」の回答が多くありました。

図表 5.3 市民意向：中心部への来訪を促す施設



以下については、平成 27 年 7 月に実施した「和歌山市伏虎中学校跡地活用に関するアンケート調査」から結果を抜粋して掲載しています。

調査名：和歌山市伏虎中学校跡地活用に関するアンケート調査  
調査日：平成 27 年 7 月  
調査対象：15 歳以上の市民に郵送アンケート  
回収率：回答数 870 件／2,000 件（43.5%）  
調査内容：伏虎中学校周辺の来訪動向、現在の市民会館の利用動向、新しい市民会館の建設について、伏虎中学校跡地利用について

- 対象地への市民会館の移設は「ふさわしい」48.3%、「ふさわしくない」22.9%
- 市民会館に併設する施設・機能は「公園・芝生広場」42.8%、「子供に遊びを提供できる場」32.6%

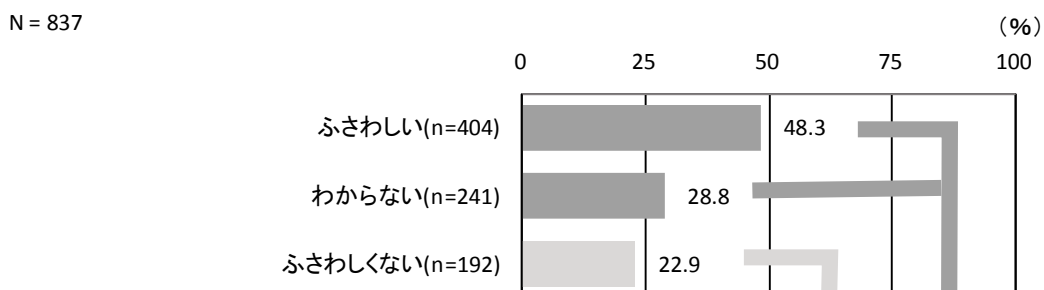
対象地への市民会館の移設については、「ふさわしい」48.3%、「わからない」28.8%、「ふさわしくない」22.9%と回答しています（図表 5.4 上）。

22.9%の「ふさわしくない」の理由では、「市民会館は、現在の場所がいい」37.2%、「敷地が狭い」が 22.9%で多くなっています（図表 5.4 中）。

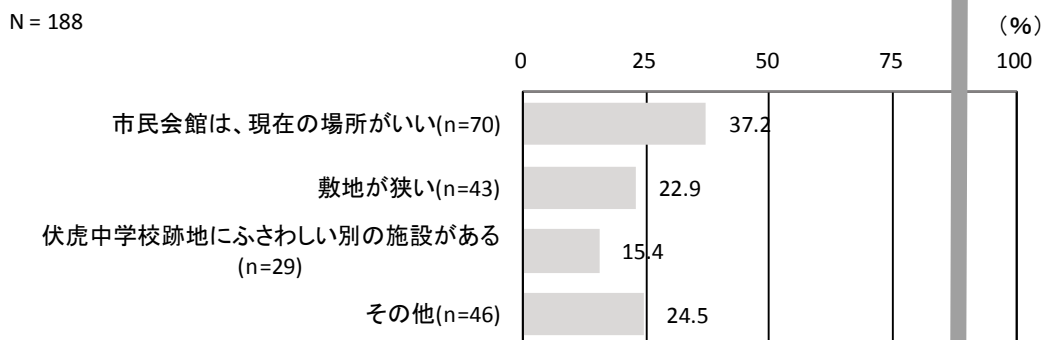
一方、「ふさわしい」と「わからない」をあわせた 77.1%の回答者は、にぎわい拠点として市民会館に併設すべき機能として重視しているのは、「公園や芝生広場など」が 42.8%を占め、次いで「子どもに遊びを提供できる場」32.6%、「市民が買い物できる店」27.4%、「野外ステージ」26.0%、「和歌山観光のみやげ物等の売り場」24.8%、「コンベンション機能（会議、見本市の開催）」23.2%の順となっています。（図表 5.4 下）。

図表 5.4 市民意向：伏虎中学校跡地への市民会館の移設について

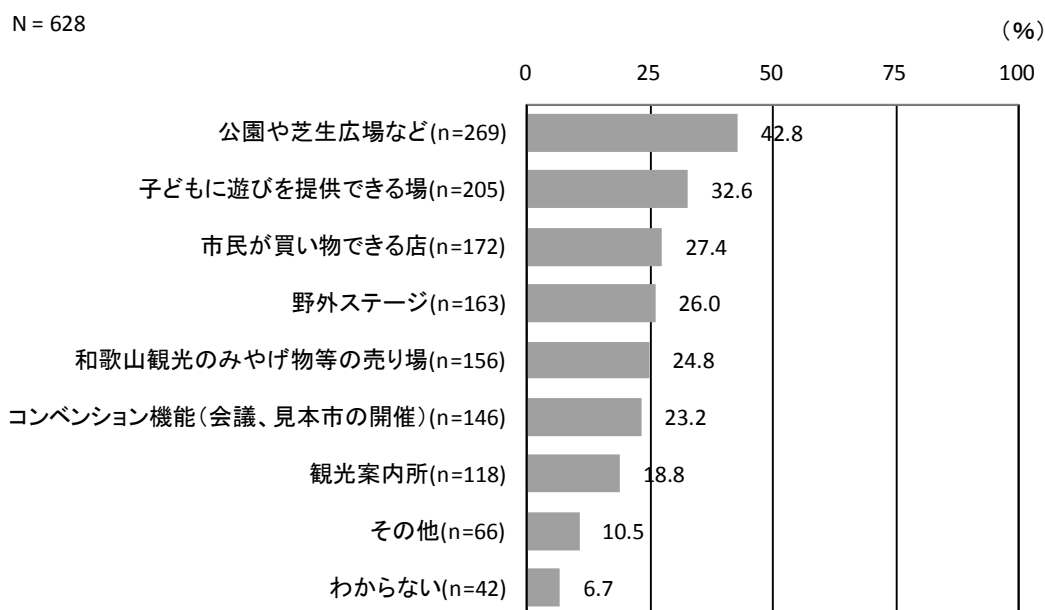
多くの人が来訪することとなる新しい市民会館の建設地として伏虎中学校の跡地はふさわしいですか。(単一回答)



ふさわしくないという理由をお聞かせ下さい。(単一回答)



伏虎中学校跡地がにぎわいの拠点となるためには、市民会館に併設して供えておくべき施設や機能はどんなものだと思いますか。(複数回答)



○ 対象地への大学の誘致は「大変良い」と「良い」の合計が40.6%、「ふさわしくない」が36.0%

対象地への和歌山県立医科大学薬学部の誘致については、「大変良いと思う」17.1%と「よいと思う」23.5%を合わせて40.6%を占めています(図表 5.5 上)。

一方、「大学の場所としてふさわしくない」20.5%と「市民会館と大学の組み合わせがあまりふさわしくない」15.5%を合わせて36.0%となっています。

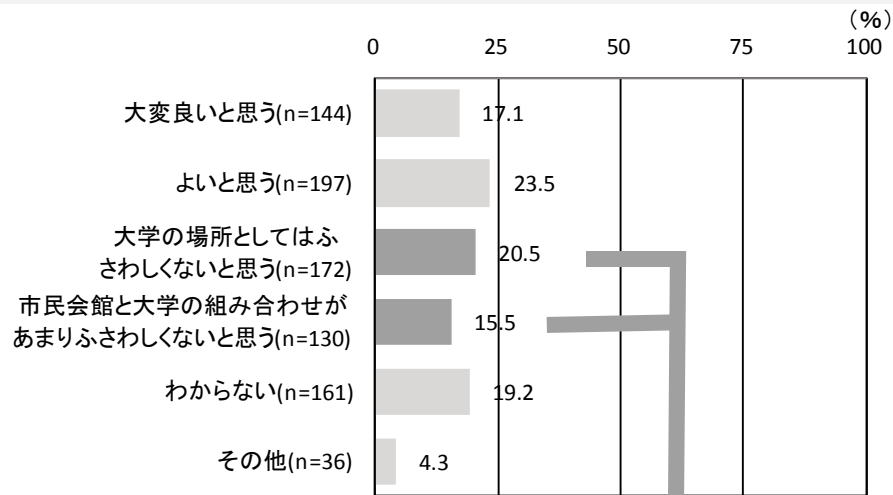
「ふさわしくない」という意見を回答した理由は、「大学は、別の場所がいい」55.9%、「敷地が狭い」26.4%となっています(図表 5.5 下)。

図表 5.5 市民意向：伏虎中学校跡地への大学誘致について

伏虎中学校跡地に大学(県立医科大学薬学部)が立地することは、どのように思われますか。

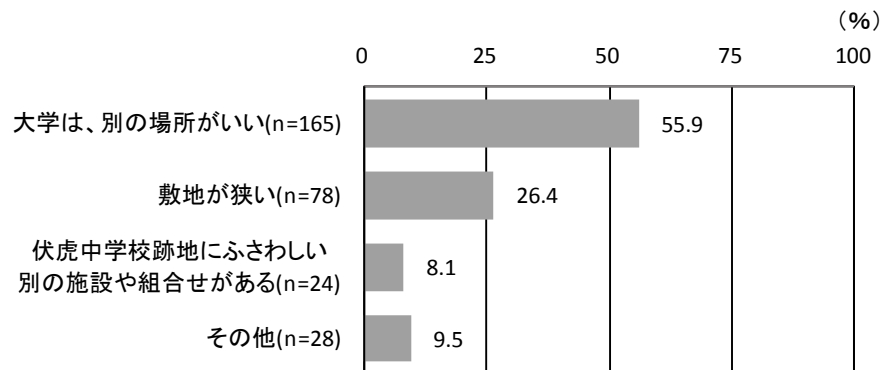
(単一回答)

N = 840



ふさわしくないという理由をお聞かせください。(単一回答)

N = 295



## 5.2. 市民発信の意見

伏虎中学校跡地の活用に関して市民からの要望書、嘆願書は、次の通りです。

### ■伏虎中学校跡地の活用について

図表 5.6 市民意向：伏虎中学校跡地利用に関する要望書（抜粋）

- ・ 市民ワークショップ開催による跡地利用方法の検討
- ・ 伏虎中学校跡地活用基本構想策定協議会への過半数の市民の参画
- ・ 市民主体による和歌山市再生協議会の設立

「伏虎中学校跡地利用に関する要望書」より抜粋

日付：平成 27 年 7 月

宛先：和歌山市長宛

発信：みんなで伏虎中学校跡地を提案する市民の  
会（代表世話人 1 名、世話人 5 名）



## ■市民会館について

市民会館の建設に関連して、より具体的な市民からの意見が示されています。

**図表 5.7 新音楽ホール建設 嘆願書（抜粋）**

1. 県都にふさわしい文化ゾーンに立地し、文化センターの役割をはたすこと。
2. 良質な音楽芸術を提供するホールであり、優れた演奏家がこぞって来訪を求める優れた音響とサービスを提供する施設であること。
3. 行政の企画段階に音楽・文化関係者が参画し、署名者の意見が企画に反映されること。

署名内容（35,728名の署名 平成27年3月5日現在）

1. 県都和歌山市にふさわしい良質な音楽・芸術（パフォーマンス・アーツ）専用ホールとなること。
2. すでに和歌山市にある和歌山県民文化会館、ビック愛、アートキューブなどの施設と重複しない規模（中規模、収容人員800名）であること。
3. 和歌山音響芸術演奏家および音楽ファンの期待に応え、かつ将来来演される世界的な音楽演奏家にも満足いただける優れた音響をもつ音楽・芸術（パフォーマンス・アーツ）専用ホールであること。

日付：平成27年3月9日

宛先：和歌山市長宛

発信：和歌山市に新音楽ホールをつくる会  
（代表2名、事務長1名）

**図表 5.8 市民意向：和歌山市民会館についての要望書（抜粋）**

幅広い文化団体・市民に歓迎される市民会館の建設をしてください。

- ・ 多種類の催事に対応できる最新設備の整った適正規模の多目的ホールを建設してください。
- ・ 芸術創造のための練習室、スタジオ、リハーサル室をつくってください。
- ・ 多彩な芸術作品を発表、展示できるスペースをつくってください。
- ・ 中規模ホール以外に多彩な催しに利用できる「市民ホール」をつくってください。
- ・ 障がい者・子どもの利用しやすい会館にしてください。
- ・ 無料もしくは安い料金の大規模な駐車場を併設してください。
- ・ 11トンロングトラックの入る使い勝手の良い搬入口を作ってください。
- ・ その他、各団体からの具体的要望をしっかりと受け止めて建設に反映させてください。

日付：平成27年4月14日

宛先：和歌山市長宛

発信：和歌山市民会館について考える会  
（世話人7名、呼びかけ団体・個人44）

## 6. 行政意向

### 6.1. 和歌山県

#### ○ 和歌山県立医科大学薬学部の新設の活用地として検討中

和歌山県は、県内の医療貢献、若者の定着を目指し、和歌山県立医科大学に薬学部の新設を検討しており、その候補地として、伏虎中学校跡地の活用を検討しています。

### 6.2. 和歌山市

#### ○ 公共施設の再整備に伴う未利用財産の積極的な活用・処分

耐震性の問題や老朽化の進行により、市民会館をはじめとした公共施設全般の再整備が必要となっています。一方で、厳しい財政状況が続くなか、単なる再整備にとどまらず、より波及効果のある施設整備や資産活用の検討を進めていく必要があります。

#### ○ 大学誘致を推進

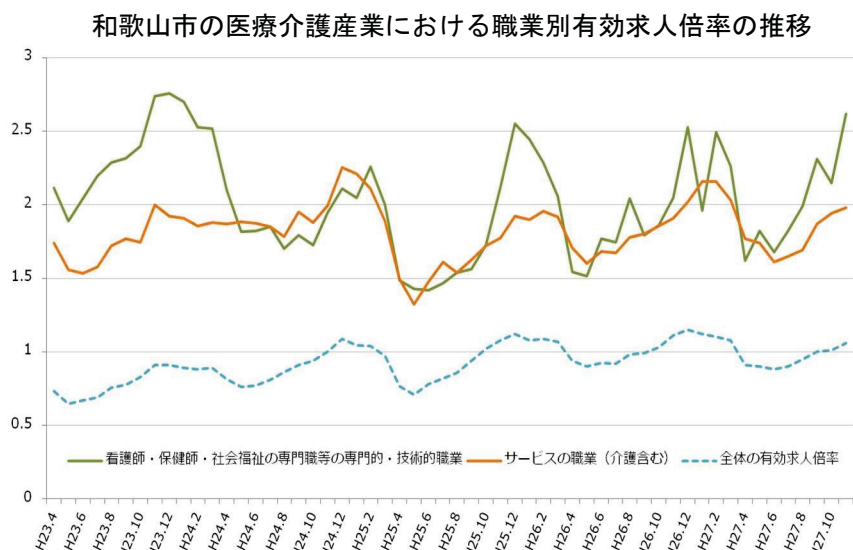
和歌山市には大学が少なく、約9割が県外の大学に進学しています。若年層の市外流出に歯止めをかけるため、市内で進学と就職の2つの機会を広げることが必要となっています。

現在、新設整備が検討されている和歌山県立医科大学の薬学部をはじめとして、広く大学の誘致を推進しています。

図表 6.1 高校生の流出率、医療介護産業の有効求人倍率の推移

順	高校所在県名	流出率
	全国	56.4%
1	和歌山	89.6%
2	佐賀	86.2%
3	島根	85.6%
	...	
45	東京	34.6%
46	北海道	31.7%
47	愛知	28.0%

「平成27年度学校基本調査（速報）」より



## 7. 上位関連計画の整理

---

### 7.1. 上位計画

#### 7.1.1. まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年 10 月策定の「和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」より抜粋

- 本市の観光資源である和歌山城の魅力に更なる磨き
- 公共施設の再整備や新しい都市機能の立地により利便性を高める
- イベント開催など、まちなかにぎわいを創出

#### 基本目標Ⅰ：安定した雇用の創出

##### 観光の振興

- 歴史資料館や岡公園など和歌山城周辺の整備を進めるとともに、扇の芝も含めた整備計画を策定し、本市の観光資源である和歌山城の魅力に更なる磨きをかける。

#### 基本目標Ⅱ：和歌山市への新しいひとの流れをつくる

##### 高等教育機関等の充実

- 専門的、技術的人材育成のため、県立医科大学薬学部等の高等教育機関の充実・誘致に取り組む。

##### シティプロモーションの推進

- 本市の歴史、文化、自然、食などの魅力や関西国際空港に近いという地理的な利便性、県庁所在地であるという優位性を積極的に発信する。

#### 基本目標Ⅳ：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

##### まちなか再生・地域拠点の整備

- JR 和歌山駅、和歌山城、南海和歌山市駅を含めたまちなかについては、公共施設の再編や新しい都市機能の立地により利便性を高めるとともに、市街地再開発事業等によるまちなか居住を促進し、まちなかの再生を目指す。
- 和歌山城内などのまちなかでイベントを開催するなど、まちなかにぎわいを創出する。
- 機能向上や維持管理の効率化を伴う統廃合など、公共施設等のあり方の基本的な方針を示し、今後の公共施設等の最適化を図る。

##### 公共インフラの最適化

- 機能向上や維持管理の効率化を伴う統廃合など、公共施設等のあり方の基本的な方針を示し、今後の公共施設などの最適化を図る。
- 公共インフラの戦略的な維持管理と、適時適切な老朽化対策を講ずる。

##### 文化・芸術に親しめる環境づくり

- 市民の文化・芸術活動を促進するとともに、日頃の活動の成果を発表するなど、文化を発信する場としての市民会館を移転新設する。

## 7.1.2. 和歌山市都市計画マスタープラン

平成 24 年 3 月に改訂した「和歌山市都市計画マスタープラン」より抜粋

### 部門方針

#### 市街地整備

- まちなか居住の促進（商業、業務、文化、行政機能集積）
- 日常生活を支える近隣商業機能の向上

#### 施設整備

- 公共交通体系の利便性の向上
- 和歌山城・公園の活用

#### 景観形成

- 歴史と風格を感じる歴史保全
- 和歌山城周辺景観重点地区の景観形成

## 7.2. 関連計画

### 7.2.1. まちなか再生計画

平成 25 年 3 月に策定した「和歌山市まちなか再生計画（2030 わかやま構想に基づき主要課題地区の市街地総合再生計画編）」

#### 和歌山城北地区

- まちなか居住・コンパクトシティのコア
- 跡地は防災拠点、イベント用地として活用し、開発を誘導する環境整備を図る

- 伏虎中学校の跡地活用に関しては、防災拠点・ソフト事業（イベント等）の拠点としての活用や緑豊かな潤いある空間の整備、洗練された建物のデザイン等、変化するこれからのまちのモデルを示すトリガープロジェクト（パイロットプロジェクト）とし、実施していくことが方向として考えられる。
- また、本市のシンボルであり、まちなかの歴史・観光資源のひとつである和歌山城を活かし、居住者がまちなかを歩いて楽しむことができる“暮らしに密着した観光まちづくり”（地元が求めるような高質で日常的なサービス・店舗の充実等）の推進等も方向性と考えられる。

### 7.2.2. 立地適正化計画（策定中）

安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが都市の課題となっています。こうしたなか、医療・福祉施設・商業地域や居住等がまとまって立地するコンパクトなまちづくりや、生活利便施設等にアクセスできる公共交通によるネットワークで連携した都市構造の見直しに向け、現在、立地適正化計画の策定を進めています。

計画では、中心市街地に必要な都市施設や都市機能を誘導する区域を設定していきます。本基本構想の対象地も中心市街地の活性化に向け必要な都市施設を検討していくこととなります。

## 8. 課題

### 8.1. 現況等と課題

現況等の前項までの内容をまとめます。

項目	概況（再掲）	分析	課題	
対象地	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地面積 約 13,000 m<sup>2</sup> 〔北敷地約 3000 m<sup>2</sup> 南敷地約 10,000 m<sup>2</sup>〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地に位置し、まとまりある、貴重な市有地であり、本市の主要課題である中心市街地活性化推進のため活用するのが望まれます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市域及び中心市街地活性化を牽引する事業の種地として活用する必要がある。</li> </ul>	
現況	人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の空洞化を防ぎ、若年層の流出を抑制していくためには、郊外への住宅・市街地の拡散を抑制していくとともに、中心市街地に便利で快適な住みたくなる魅力ある住環境を整備する必要があります。</li> <li>郊外の庭付き車庫付き一戸建て住宅よりも、交通や買い物、余暇活動などの幅広い都市的サービスが身近に享受できるまちなか暮らしがブランドとなる必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口の空洞化対策のため、今ある便利さに加え、さらに便利で快適な住みたくなる魅力的な住環境づくりが必要。</li> <li>交通や買い物、余暇活動などの幅広い都市的サービスが身近に享受できるまちなか暮らしのブランド化が必要。</li> </ul>	
	産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心部の商業の空洞化</li> <li>昼間の就業者人口は中心市街地に集積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の商業の空洞化は、売り場面積が人口規模に応じた広さを有していながら、郊外に大型商業施設が分散していることから、更に進行していくことが予想されます。</li> <li>ただし、和歌山城周辺はビジネス街として事業所・従業員が多く、にぎわい創出の起点として可能性がある地区です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の商業施設の減少に歯止めをかけ、にぎわい創出や産業の活力を回復するための起点づくりが必要。</li> </ul>
	観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展の可能性が高い観光関連産業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客の増加が牽引し、産業として明るい兆しが見えています。</li> <li>今後とも、アジア圏域の経済発展に伴い観光客の増加が予想されます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光サービス業、宿泊業、飲食業やコンベンションサービスなどを含めた観光関連産業の育成振興が必要。</li> </ul>

項目	概況（再掲）	分析	課題	
現況	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス、鉄道による関西国際空港との円滑なアクセス</li> <li>高速道路等の充実</li> <li>対象地区の市内バス交通は充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関西国際空港や高速道路、2つの鉄道より海外、国内からの来訪者を招きやすい交通が確保されています。</li> <li>市内には、2つの鉄道駅 JR 和歌山駅、南海和歌山市駅が公共バス網の起点となり充実したバス幹線が整備されています。</li> <li>一方、市内郊外では公共バス網が不足し、マイカー中心の生活スタイルが多く占める中、駐車場対策が全ての施設の存続を左右する重要な要件となっています。</li> <li>市内の中でも中心市街地は、自転車利用者の多い地区となっています。近年の自転車ブームをうけて、利用者の利便性向上のための環境整備が求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに関西国際空港への公共交通を充実し、広く海外・国内からの観光客等の誘致を継続することが必要。</li> <li>立地施設に見合った十分な駐車場の確保が必要。</li> <li>自転車利用者の利便性向上のため、自転車レーンの整備、駐輪場の確保、サービスステーションなどが必要。</li> </ul>
	土地利用現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活サービス施設が整った便利な住環境</li> <li>未利用地が増え、路線価が下がっている</li> </ul> <p>対象地周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オフィス機能、観光・宿泊・医療施設が集まるシンボル地区</li> <li>いろいろな目的をもった人が集まる土地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地域周辺は、市役所をはじめとする公共公益施設や主要民間企業のオフィス、ホテル、医療施設など高度都市機能が集積する本市の心臓部にあたる主要な地域です。</li> <li>南側に本市のシンボルである和歌山城を抱える好立地の価値の高い地域です。</li> <li>中心市街地では人口、商業の空洞化が進み、空き地や露天の駐車場が増加し、中心部の土地利用としては密度が低下しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地域の高度都市機能集積地域やお城に対面するシンボル地域である好立地条件を活用。</li> <li>産業振興やまちなか居住の増加、中心部への来訪者の増加など中心市街地の活性化に寄与する土地利用の誘導が必要。</li> </ul>

項目	概況（再掲）	分析	課題
土 地 利 用 動 向	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小中学校の適正規模化に伴う3学校用地の土地利用転換</li> <li>• 公共施設の耐震性の問題や老朽化の進行に伴い再整備の一環として、市民会館、図書館の建替え等を検討中</li> <li>• 南海和歌山大学前駅に大型商業施設が立地する一方で、南海和歌山市駅では百貨店が撤退</li> <li>• 市街地再開発事業によるまちなかの再整備の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校跡地は、中心市街地に残された貴重な公共用地です。</li> <li>• 芸術文化の振興上重要な施設である市民会館、図書館は、年間を通して、市民の利用が多い施設であり、立地により来訪者の増加など大きな波及効果が見込まれます。</li> <li>• マンションやホテルの立地は主要駅前や和歌山城が見えるエリアなどでは需要が見込まれますが、その他の地域での立地は厳しい状況となっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市域、中心市街地の活性化のための事業用地として波及効果の高い利用が必要。</li> <li>• 効率的な行政運営と市民の利便性の向上、将来需要を考慮し、合理的な公共施設の再整備が必要。</li> <li>• 市民会館と図書館は集客施設として、市民の利便性とその波及効果を十分に発揮できる立地条件のいい場所で整備する必要がある。</li> <li>• まちなか居住を推進するためにマンション立地が見込める主要駅前や和歌山城が見えるエリアなどについては積極的な立地誘導を促すことが必要。</li> </ul>

項目	概況（再掲）	分析	課題
市民意向 市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地への来訪目的は、半数が市役所への来庁</li> <li>・ 市民がよく利用する公共施設は「市役所」「和歌山公園」「市民会館」</li> <li>・ 中心部には「ショッピングセンター」「美味しい飲食店」「百貨店・デパート」が望まれている</li> <li>・ 来訪者を増やすには「和歌山城を活かした観光施設」が必要という考えの人が多い</li> <li>・ 対象地への市民会館の移設は「ふさわしい」48.3%、「ふさわしくない」22.9%</li> <li>・ 市民会館に併設する施設・機能は「公園・芝生広場」42.8%、「子供に遊びを提供できる場」32.6%</li> <li>・ 対象地への大学の誘致は「大変良い」と「良い」の合計が40.6%、「ふさわしくない」36.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「市役所」「和歌山公園」「市民会館」は、中心市街地での最大の集客施設となっています。これらの施設が集積することによって相乗効果を生み、集客性を高める可能性があります。</li> <li>・ 民間施設としてはショッピングセンター、美味しい飲食店、百貨店が求められ、専門店・外にはないお店など付加価値の高い商業施設の立地が求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設などで集客性を高め、にぎわいを生み出す拠点形成を目指すことが必要。</li> <li>・ 民間施設については、専門店など付加価値の高い商業施設の立地を誘導していくことが必要。</li> <li>・ 市民会館の移設について半数が賛成の意向を示している。市民会館に併設したい施設・機能として芝生広場、子供に遊びを提供する場となっており、多機能で、市民に広く開かれた施設・機能が必要。</li> </ul>



項目	概況（再掲）	分析	課題
市民意向 市民発信の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 伏虎中学校跡地利用に関する要望書</li> <li>• 新音楽ホール建設 嘆願書</li> <li>• 和歌山市民会館についての要望書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 跡地活用の検討に市民も積極的に参加できる仕組みを取り入れて欲しいといった意欲的な意見もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 跡地活用の検討に市民も積極的に参加できる仕組みづくりが必要。</li> <li>• 良質な音楽芸術を提供するホール、良質な音楽・芸術（パフォーマンス・アーツ）専用ホールの検討が必要。</li> <li>• 市内の類似施設と重複しない規模（中規模、収容人員 800 名）の検討が必要。</li> <li>• 多種類の催事に対応できる最新設備の整った適正規模の多目的ホールの検討が必要。</li> <li>• 芸術創造のための練習室、スタジオ、リハーサル室の検討が必要。</li> <li>• 多彩な芸術作品を発表、展示できるスペースの検討が必要。</li> <li>• 多彩な催しに利用できる「市民ホール」の検討が必要。</li> <li>• 障がい者・子どもの利用しやすい会館の検討が必要。</li> <li>• 無料もしくは安い料金の大規模な駐車場整備の意見等が必要</li> <li>• 11 トンロングトラックの入る使い勝手の良い搬入口の検討が必要。</li> </ul>

項目	概況(再掲)	分析	課題
行政意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌山県立医科大学薬学部の新設の活用地として検討中</li> <li>公共施設の再整備に伴う未利用財産の積極的な活用・処分</li> <li>大学誘致を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の大学新設と市の大学誘致の意向がマッチしています。</li> <li>若者の流出の歯止め策として大学誘致は大きな効果があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の活性化と若者の流出を防止するために、大学の誘致を推進することが必要。</li> </ul>
上位関連計画の整理	<p><b>まち・ひと・しごと創生総合戦略</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市の観光資源である和歌山城の魅力に更なる磨き</li> <li>公共施設の再整備や新しい都市機能の立地により利便性を高める</li> <li>イベント開催など、まちなかにぎわいを創出</li> </ul> <p><b>和歌山市都市計画マスタープラン</b></p> <p>市街地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか居住の促進(商業、業務、文化、行政機能集積)</li> <li>日常生活を支える近隣商業機能の向上</li> </ul> <p>施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通体系の利便性の向上</li> <li>和歌山城・公園の活用</li> </ul> <p>景観形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史と風格を感じる歴史保全</li> <li>和歌山城周辺景観重点地区の景観形成</li> </ul> <p><b>まちなか再生計画</b></p> <p>和歌山城北地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか居住・コンパクトシティのコア</li> <li>公有地：開発を誘導する環境整備。防災拠点、ソフトイベントの創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の上位計画で、「まちなか居住の促進」、「にぎわいの創出・回遊性の向上」が主要なテーマとなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伏虎中学校跡地は、上位計画の中心市街地活性化のための主要なテーマ実現のために、「まちなか居住の促進」、「にぎわいの創出・回遊性の向上」に寄与できる土地利用や施設の立地を誘導していくことが必要。</li> </ul>

## 8.2. 跡地活用に関する課題のまとめ

以上の分析結果を踏まえて、跡地活用に関する課題をまとめると以下の通りです。

**一時的なにぎわい創出や活性化に留まらず、将来に向け集客性が続き、効果が持続する土地活用が必要である。**

- ・ 人口減少対策のため若者の定着に寄与する土地利用や施設づくりが必要。
- ・ まちなか居住者の増加、市民の来訪者や観光交流客の増加に寄与し続ける土地利用や施設づくりが必要。
- ・ まちなかのにぎわい創出効果を維持する土地利用や施設づくりが必要。

**まちなかの衰退に歯止めをかける、にぎわい創出や回遊性の向上及びまちなかの産業の活性化に寄与する土地活用が必要である。**

- ・ 観光客を引き込み、観光関連産業の育成に寄与するために、6次産業化などによる地域循環を促進する飲食サービス・みやげ物店等の立地誘導や、観光関連サービス、コンベンション機能の充実を図り、来訪者を迎える環境づくりが必要。
- ・ まちなかの集客効果を上げるために、公共施設（市民会館や大学など）の整備や商業施設、居住施設などの立地誘導が必要。

**和歌山城を望む虎伏中学校跡地は、市民が郷土愛や愛着心を持って関心を寄せる市有地として、市民の満足度が向上する土地活用が必要である。**

- ・ シンボリックな位置にある伏虎中学校跡地には、芸術文化の振興拠点である市民会館などの多くの市民が利用できる施設整備が必要。
- ・ 市民会館に併設する施設として市民の意向が高い、公園や芝生広場、子どもの遊び場、買い物ができる店舗、みやげ物店、コンベンション機能を整備などより多くの人々が普段から利用できる施設の整備・誘致が必要。

## 9. 跡地活用の理念

---

跡地活用の整備課題を受けて、伏虎中学校跡地の活用の理念を以下の3つとします。

### 1. にぎわいの創出

- ・ にぎわい・回遊性の向上
- ・ まちなか居住の促進

### 2. 市民満足度の向上

- ・ 市民の生活サービスの向上
- ・ 跡地活用への市民意向の反映

### 3. 持続可能性の確保

- ・ まちなかへの集客性の継続
- ・ 将来も持続可能な土地活用、施設整備

3つの理念を基に、伏虎中学校跡地の活性化を図り、将来も持続可能で発展性があるにぎわいのまちなかをつくります。

## 10. 利用用途別の評価

ここでは、対象地においてどのような土地利用が相応しいかについて、次のとおり分析評価を行います。

検討にあたっては、市民意向調査から伏虎中学校跡地活用として評価が高かった土地利用と、現況調査や近年の動向から今後も有望と考えられるもの、または今後の課題として重要と考えられるもの8種類の土地利用を想定し、3つの基本理念に基づく6つの評価項目を設定し、評価を行います。

＜上記の方針により選定した8種類の土地利用用途とその選定根拠＞

- ・ **市民会館** . . . . . アンケート調査、行政意向（跡地にふさわしい施設、行政が再整備を考えている施設）
  - ・ 公共施設再整備等
- ・ **大学** . . . . . 行政意向とアンケート調査（行政が若者流出抑制のために誘致したい施設、跡地への大学誘致の意向）
  - ・ 和歌山県立医科大学薬学部を想定
- ・ **公園・芝生広場等** . . . アンケート調査
  - ・ 公園や芝生広場及び子どもの遊び場
- ・ **観光関連施設** . . . . . アンケート調査（中心部へ来訪を促す施設）
  - ・ みやげ物店やおいしい飲食店等の観光関連施設等
  - ・ 和歌山城を活かした観光施設
- ・ **まちなか居住施設** . . . 現況調査（まちなかの空洞化対策の課題）
  - ・ マンションと商業施設の複合型施設
- ・ **商業施設** . . . . . アンケート調査（中心部へ来訪を促す施設）
  - ・ ショッピングセンターなどの商業施設
- ・ **シティホテル** . . . . . 現況調査（近年の観光客等の動向）
  - ・ 宴会場や会議室、商業施設を有する宿泊施設
- ・ **コンベンション施設** . アンケート調査
  - ・ メイン会議場、サブ会議室等が施設

## 10.1. 評価項目・評価基準の設定

土地利用を評価する項目を、跡地活用の理念「にぎわいの創出」、「市民満足度の向上」、「持続可能性の確保」より6つ設定し、それぞれの評価基準を示します。

<評価項目と評価基準>

### にぎわいの創出

#### ①にぎわい・回遊性の向上

人が集まるにぎわいが創出されたり、まちなかを回遊する人が増える見込みがあるかどうかで評価します。

##### 評価基準

- ◎：にぎわい・回遊性向上の効果が高い
- ：にぎわい・回遊性向上の効果がある
- △：にぎわい・回遊性向上の効果が低い
- ×：にぎわい・回遊性向上の効果が期待できない

#### ②まちなか居住の促進

まちなかに居住する人が増えるかどうかで評価します。

##### 評価基準

- ◎：まちなか居住促進の効果が高い
- ：まちなか居住促進の効果がある
- △：まちなか居住促進の効果が低い
- ×：まちなか居住促進の効果が期待できない

### 市民満足度の向上

#### ③市民の生活サービスの向上

より多くの市民に生活サービス向上の効果があるかどうかで評価します。

##### 評価基準

- ◎：市民の生活サービス向上の効果が高い
- ：市民の生活サービス向上の効果がある
- △：市民の生活サービス向上の効果が低い
- ×：市民の生活サービス向上の効果が期待できない

#### ④市民意向の反映

市民意向を十分反映出来るかどうかで評価します。

##### 評価基準

- ◎：市民意向の反映が十分である
- ：市民意向の反映は出来ている
- △：市民意向の反映が不十分である
- ×：市民意向の反映が期待できない

### 持続可能性の確保

#### ⑤まちなかへの集客性の継続

まちなかへの集客性を継続していくことが出来るかどうかで評価します。

##### 評価基準

- ◎：集客性の継続効果が高い
- ：集客性の継続効果がある
- △：集客性の継続効果が低い
- ×：集客性の継続効果が期待できない

#### ⑥将来の土地利用の持続可能性

将来も土地利用の持続可能性が確保される可能性が高いかどうかで評価します。

##### 評価基準

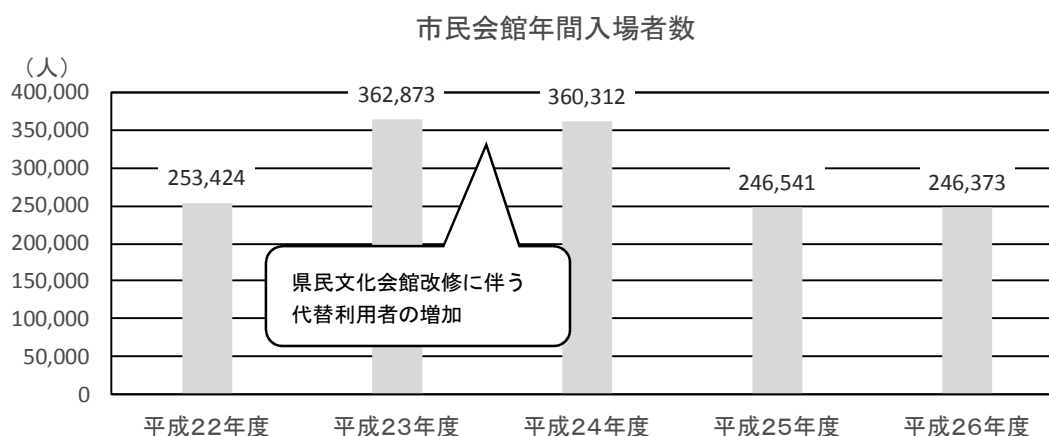
- ◎：土地利用の持続可能性が高い
- ：土地利用の持続可能性がある
- △：土地利用の持続可能性が低い
- ×：土地利用の持続可能性が期待できない

### 10.1.1. 市民会館

市民会館は、市役所、和歌山公園の次に集客が多い公共施設です。現在、市民会館は、耐震性による問題、老朽化の進行により建て替えが必要となっており、対象地への移設を検討する良いタイミングであるといえます。

特に、伏虎中学校跡地への市民会館の移設は、集客の相乗効果が期待されます。

図表 10.1 市民会館年間入場者数



図表 10.2 市民会館立地評価

評価		評価	評価内容
にぎわい創出	にぎわい・回遊性の向上	◎	・ 市民会館の利用者は、年間約 25 万人で、一定のにぎわい創出効果は期待できる。
	まちなか居住の促進	△	・ 周辺ではまちなか居住地としての立地条件は高まるが、直接効果があるわけではない。
市民満足の向上	市民サービスの向上	◎	・ 市役所など行政サービス施設や医療施設等があり相乗効果が期待できる。
	市民意向の反映	○	・ 市民の 48.3%が市民会館の立地がふさわしいと考えている。(図表 5.4)
持続可能性の確保	集客性の継続効果	◎	・ 人が集まる公共施設であり、集客性の継続が期待できる。
	土地利用の持続可能性	◎	・ いったん整備されると長期にわたり利用が継続されるものであり持続可能性は高い。

## 10.1.2. 大学

和歌山県は、伏虎中学校跡地を活用して和歌山県立医科大学の薬学部の新設を検討しています。

和歌山県立医科大学薬学部が立地した場合は、1 学年 100 人の 6 年制となっており、通学日数を 175 日と設定すると、年間約 10 万人（600×175）が対象地に新たに訪れることになります。

図表 10.3 大学立地評価

評価		評価	評価内容
にぎわい 創出	にぎわい・回遊性の向上	◎	・若者（大学生）が新たに約 10 万人増加し、にぎわい効果が期待できる。
	まちなか居住の促進	◎	・在学生や教職員等がまちなか居住者として、増えることが想定できる。
市民満足の向上	市民サービスの向上	○	・直接市民に恩恵・サービスを与える施設ではないが、将来、市内にとどまる若者や医療に関わる人材の育成ということで公共公益性が高い。
	市民意向の反映	△	・大学の誘致は、大変良いと思う 17.1%、良いと思うは 23.5%で 40.6%がふさわしいと考えている。（図表 5.5）
持続可能性の確保	集客性の継続効果	◎	・大学生が集まる公立の学校施設であり、集客性の継続が期待できる。
	土地利用の持続可能性	◎	・いったん整備されると長期にわたり利用が継続されるものであり持続可能性は高い。



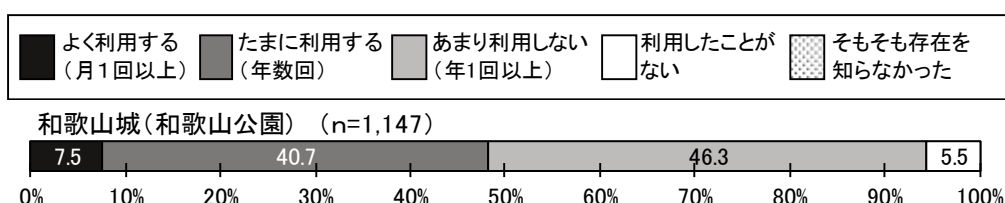
### 10.1.3. 公園・芝生広場等

和歌山城を含む和歌山公園は、花見や遠足、ジョギング、散策、お祭りなど多くの市民が利用する公園です。隣接する和歌山公園と緑の連続性を確保しながら、屋外ステージや休憩施設のある市民広場、芝生広場、遊具がある遊び場などは、施設の屋外空間として多くの来訪者に喜ばれる可能性があります。



市 HP 「おどるんや紀州よさこい祭り」

再掲：図表 5.2 市民意向：市役所周辺にある公共施設の利用頻度(再掲)



市役所周辺公共施設の再整備方針の策定に係る市民アンケート調査 (平成 25 年 8 月)

- ・よく利用する人 (月 1 回以上)  
約 29 万人 (7.5%×約 32 万人(18 歳以上)×12 月)
- ・たまに利用する人、あまり利用しない人 (年数回、年 1 回以上)  
約 28 万人 (87.0%×約 32 万人(18 歳以上))

合計 約 57 万人

図表 10.4 公園・芝生広場等立地評価

評価		評価	評価内容
にぎわい創出	にぎわい・回遊性の向上	○	・ 周辺施設利用者の立ち寄りも期待され一定の効果が期待される。
	まちなか居住の促進	△	・ 生活サービス施設が充実することからまちなか居住の立地条件は高まるが、居住者が直接増えることはない。
市民満足の向上	市民サービスの向上	◎	・ 憩いの広場や遊び場として誰もが利用できることから、市民サービスの向上効果は高いと考えられる。
	市民意向の反映	◎	・ 対象地に公園・広場を望んでいる人が多いことから、市民の意向は十分反映出来る。
持続可能性の確保	集客性の継続効果	○	・ 適正な管理によって、人が集まる公共施設であり、一定の集客性の継続が期待できる。
	土地利用の持続可能性	◎	・ 一度整備されると利用が継続されるものであり、土地利用の持続可能性は高いと考えられる。

#### 10.1.4. 観光関連施設

観光を目的とした和歌山城の年間入閣者数は、平成 26 年で年間約 20 万人（850 人/日）を越し増加傾向にあります。アジアをはじめとする海外からの来訪者も多く、みやげ物店などの立地ニーズもあります。

平成 27 年 9 月には、1 階に観光案内所や観光土産品センター、2 階には和歌山城や和歌山市の偉人を紹介する展示室などを設けた「わかやま歴史館」がオープンし、観光関連施設が充実しました。



わかやま歴史館

観光地としては、更に周遊拠点が増え、点から線、線から面へとつながることによって、観光地としての魅力が深まります。ここでは、更に、歴史、文化、自然、食などをテーマとした観光関連施設等の立地を想定して評価します。

図表 10.5 観光関連施設立地評価

評価		評価	評価内容
にぎわい創出	にぎわい・回遊性の向上	◎	既に多くの観光客が和歌山城を訪れており、新たに当該地区に観光関連施設が立地すると、和歌山城と併せた相乗効果が期待され、にぎわいの創出や中心市街地の回遊性の向上に、大きな効果が期待される。
	まちなか居住の促進	×	まちなか居住とは直接の関連性はないことから、まちなか居住の促進は期待できない。
市民満足の向上	市民サービスの向上	○	直接市民サービスの向上に寄与するわけではないが、地場産品の販売や地元の食材を利用した飲食施設が出来ると、市民の利用者も増加する可能性があることから市民サービスの向上にも一定の効果が期待される。
	市民意向の反映	◎	多くの市民が和歌山城を活かした観光施設の充実を望んでいる事から市民意向の反映は十分である。
持続可能性の確保	集客性の継続効果	○	お城に近く集客性の継続が期待できるが、けやき大通りに分断されているので、人を呼び込みむ仕掛けが必要。
	土地利用の持続可能性	△	施設は繁盛している間は継続できるが、集客力がなくなるとすぐ撤退する可能性があることから、持続可能性は低い。

### 10.1.5. マンション（まちなか居住施設）

和歌山城周辺は、通勤、通学、日常の買い物に便利な上、お城が見渡せるということから眺望が良く、マンション建設予定地として住環境の満足度が高い地区となっています。

図表 10.6 住宅事業者ヒアリングまとめ

項目	内容
まちなか全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中心性・拠点性が希薄（まちなかに集客できる核施設がない等）</li> <li>○ 事業成立のためには県と市の支援が必要（補助金等）</li> <li>○ 土地の流動性が低い地域（不動産の流通が少ない）</li> </ul>
供給戸数	○ 70～80 戸程度（企画、価格次第では 100 戸程度も可能性有）
ターゲット商品企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ファミリー層（教育重視）、高齢者（利便性）、女性（防犯性）</li> <li>○ 住戸面積は 70～80 m<sup>2</sup>（コンパクトで使いやすい規模）</li> <li>○ 高い防災性能（免震等の地震対策等）</li> <li>○ 和歌山城を眺望できる立地やけやき大通り沿いの立地に高い付加価値</li> </ul>
駐車台数	○ 駐車台数は 100%（満たない場合は周辺にて確保する必要有）
付加的機能	○ 近隣商業機能（都市型スーパー等）、医療・福祉機能、子育て支援機能等との複合開発
開発候補	○ J R 和歌山駅周辺、和歌山城周辺、けやき大通り沿い

和歌山市まちなか再生計画（抜粋） 平成 25 年 3 月

図表 10.7 マンション立地評価

評価		評価	評価内容
にぎわい創出	にぎわい・回遊性の向上	○	・ 居住者が増えることにより、まちなかに人が増え、にぎわいや回遊性の向上につながるが、利用者としては居住者だけであり、効果は限定的である。
	まちなか居住の促進	◎	・ まちなか居住地としての立地条件は高く、促進効果も高い。
市民満足の向上	市民サービスの向上	×	・ 多くの市民サービスの向上を目的とする施設ではなく、居住者の住民サービスを向上させる施設である。
	市民意向の反映	×	・ 市民意向としてはマンションを望む声は少ない。
持続可能性の確保	集客性の継続効果	×	・ 集客性はない。
	土地利用の持続可能性	◎	・ 所有区分により資産化され、いったん整備されると長期にわたり利用が継続されるものであり、持続可能性は高い。

### 10.1.6. 商業施設

生活サービス施設は徒歩圏に一定量分布していますが、中心市街地には大型の商業施設が少なく、立地の可能性は高いと考えられます。また、市役所などへの来訪者が多い事から立地による相乗効果が期待されます。

一方、中心市街地の商業施設として質や専門性の高い商業施設や飲食施設も求められており、利便性が高い位置にそのような商業施設が立地すると、にぎわい創出効果や中心商業地との回遊性の向上効果が期待されます。

図表 10.8 商業事業者ヒアリングまとめ

項目	内容
まちなか全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 郊外の大型商業施設への消費活動の流出による空洞化</li> <li>○ まちなかは買物に不便な環境（まちなかのスーパーの撤退等）</li> <li>○ ふじと台の大型商業施設の脅威</li> </ul>
店舗の課題 将来計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 増床やリニューアルではなく、質の高い商品・サービスの提供による顧客の流出抑制</li> <li>○ まちなかでは都市型スーパー（小規模、食料品中心）の可能性有</li> </ul>
まちなかに 望まれる機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駐車場機能（車でアクセスしやすいまちなか、車中心のライフスタイルへの対応）</li> <li>○ まちなかの集客力や回遊性を高める機能</li> <li>○ 若年層がまちを遊滞できる機能（大型専門店、カルチャー・アミューズメント施設等）</li> <li>○ 駅前再整備（交通体系の再整備、駅前マンション等の整備）</li> <li>○ 都市的な機能の充実（機能の集約・複合化・高度化等）</li> </ul>

和歌山市まちなか再生計画（抜粋） 平成 25 年 3 月

図表 10.9 商業施設立地評価

評価		評価	評価内容
にぎわい 創出	にぎわい・回遊性の向上	◎	・ 魅力的な商業施設が増えることにより、まちなかに人が増え、にぎわいや回遊性を向上する効果が期待される。
	まちなか居住の促進	○	・ 商業施設が増えることにより生活の利便性が増加するため、まちなか居住への間接的な効果が期待出来る。
市民満足の向上	市民サービスの向上	◎	・ 質や専門性の高い商業施設や大型の商業施設が立地すれば、多くの市民に利用される可能性があり、市民サービスの向上効果は大きいものと期待される。
	市民意向の反映	◎	・ 大規模商業施設や美味しい飲食店、百貨店・デパートを望む声が多い。
持続可能性の確保	集客性の継続効果	○	・ 話題性や品質を確保し続け、店頭販売に注力した継続的な商いが必要とされる。
	土地利用の持続可能性	△	・ 商業施設は繁盛している間は継続できるが、集客力がなくなるとすぐ撤退する可能性があることから、持続可能性は低い。

### 10.1.7. シティホテル

最近、海外からの観光客が増加していることから、宿泊客の増加が著しく、市内のホテルの稼働率が高水準となっています。需要の高まっている現在、対象地にホテルを立地することは可能性、実現性ともに高いと考えられます。特に、市内の総宿泊人数は、コンベンションやイベント時などには不足することが指摘されています。今後とも外国人観光客の増加の期待や、お城に面した好立地条件にあることから、立地の可能性が高い施設と言えます。

図表 10.10 シティホテル立地評価

評価		評価	評価内容
にぎわい 創出	にぎわい ・回遊性 の向上	○	・ 宿泊客数は限定されるが、にぎわいや回遊性を向上する効果は大きい。
	まちなか 居住の促進	×	・ まちなか居住の促進には直接的な効果は期待できない。
市民満足 の向上	市民サービスの 向上	○	・ 市民の応接室や冠婚葬祭の場、会議の場、ショッピングや飲食の場としての機能があり市民サービスの向上に一定の効果がある。
	市民意向 の反映	△	・ 市民意向としては立地希望が少ない施設である。
持続可能性の 確保	集客性の 継続効果	○	・ いったん整備すれば、集客性を継続することは可能。
	土地利用の 持続可能性	○	・ 長期的には事業撤退等も考えられるが、いったん整備されると比較的長く利用が継続されるものであり、民間商業施設であっても持続可能性は高い。

### 10.1.8. コンベンション施設

国内外の人達が集う各種会議、見本市、イベントなどを行うコンベンション施設は、大きな会場や会議室、宴会施設や宿泊施設などの関連施設や誘致体制、通訳支援などの仕組みも必要となります。宿泊施設が隣接するなど一定の条件は整っており、今後観光交流を主要産業として育成していくためにも必要性が高い施設と考えられます。

図表 10.11 コンベンション施設立地評価

評価		評価	評価内容
にぎわい 創 出	にぎわい ・回遊性 の 向 上	◎	・ 国内外からの来訪者が増え、にぎわいや回遊性の向上効果が期待できる。
	まちなか 居住の促進	×	・ 国際コンベンションが可能というステータスは上がるが、直接まちなか居住を促進効果は期待できない。
市民満足 の 向 上	市民サービスの 向 上	○	・ 和歌山市を国内外に PR するきっかけを生み、ひいては観光振興につながる可能性を有している ・ 市民が大きな会議などを行う際に、利便性が高まる。
	市民意向 の 反 映	○	・ 一部にコンベンション機能を求める市民意向がある。
持続可能性の確保	集客性の 継続効果	◎	・ 誘致体制が施策として持続すれば、集客性を継続することは可能。
	土地利用の 持続可能性	◎	・ いったん整備されると長期にわたり利用が継続されるものであり持続可能性は高い。

## 10.2. 評価のまとめ

跡地活用の理念に基づく利用用途別の評価を比較するため、◎○△に配点を設定すると、以下のとおりとなります。

「市民会館」と「大学」は、跡地活用の理念の実現に向け評価の高い土地利用といえます。また、これらに次いで「公園・芝生広場」「観光関連施設」「商業施設」「コンベンション施設」も評価の高い土地利用であるといえます。

図表 10.12 立地評価表

利用用途	にぎわい創出		市民満足の向上		持続可能性の確保		得点
	にぎわい・回遊性の向上	まちなか居住の促進	市民サービスの向上	市民意向の反映	集客性の継続効果	土地利用の持続可能性	
市民会館	◎	△	◎	○	◎	◎	24
大学	◎	◎	○	△	◎	◎	24
公園・芝生広場等	○	△	◎	◎	○	◎	22
観光関連施設	◎	×	○	◎	○	△	17
マンション	○	◎	×	×	×	◎	13
商業施設	◎	○	◎	◎	○	△	22
シティホテル	○	×	○	△	○	○	13
コンベンション施設	◎	×	○	○	◎	◎	21

※配点 ◎5点、○3点、△1点

■ 「市民会館」「大学」との併設用途について

ここでは、跡地活用の理念に基づく評価が最も高い「市民会館」「大学」が立地する場合を想定し、これら施設と併設することによって、より相乗効果を生む用途を検討します。

図表 10.13 「市民会館」「大学」との併設による相乗効果

	市民会館	大学	その他周辺環境
公園・芝生広場等	市民会館の出入りに、屋外空間が広がることにより、ゆとりある空間が生まれるとともに、屋外に催し物のにぎわいを表出することができる。公園・芝生広場等においても、屋内空間とつながることによってさまざまな使い方が可能となり、 <u>併設する効果は高い。</u>	キャンパスとしての使い方をすることによって、大学としてゆとりあるスペースを生み出すことができる。公園・芝生広場等では街中に大学生が集う新たなにぎわいの風景を生み出すこととなり、 <u>併設する効果は高い。</u>	和歌山城に隣接し、散策者などオープンスペースを楽しむ人たちがふらっと立ち寄る可能性が高い。 <u>周辺環境との親和性は高い</u>
商業施設	市民会館利用者の利便性が向上するだけでなく、商業施設としても一定の消費者が確保でき <u>併設する効果は高い。</u>	大学としては、商業施設があることで利便性が増す。商業施設としても一定の若者の購買需要が生まれたため <u>併設する効果は高い。</u>	隣接するホテルには飲食、コンビニエンスストア等がテナントとして入っており、商業施設として相乗効果を生む可能性が高い。 <u>周辺環境との親和性は高い</u>
コンベンション施設	市民会館にコンベンション施設を併設した場合、ホールや複数の会議などの稼働率をより高めることができるため <u>併設する効果は高い。</u>	学会や研究会等のコンベンションなど開催しやすく、利便性が高くなるため、併設する <u>効果は高い。</u>	ホテルに隣接しており、コンベンション機能に欠くことのできない宿泊機能の連携が可能である。 <u>周辺環境との親和性は高い</u>
観光関連施設	市民会館では、観光客の来場が増えることにより、本市の芸術文化を広める PR 効果を生む。観光関連施設についても、市外海外から市民会館を訪れる方の一定の購買需要があるため <u>併設する効果は高い</u>	大学としては、観光関連施設の需要は低く、 <u>併設する効果は低い。</u>	和歌山城、わかやま歴史館に隣接し、好立地にある <u>周辺環境との親和性は高い</u>  ※ただし、けやき大通りが大きな分断要素となっている。
マンション	市民会館は、マンションと <u>併設する効果は低い。</u>	大学は、マンションと <u>併設する効果は低い。</u>	周辺はビジネス街ながら、既にマンションも立地していることもあり、 <u>親和性はある</u>
シティホテル	市民会館は、観光客の来訪が増えるため、 <u>併設する効果は高い。</u>	大学は、シティホテルと <u>併設する効果は低い。</u>	ホテルに隣接しており、 <u>競合する可能性が高く、親和性は低い</u>

※青下線：高評価 黒下線：評価



## 「市民会館」「大学」との併設が有効な施設

「市民会館」と「大学」に併設することによって相乗効果を生み、周辺環境とも親和性が高い施設に、「公園・芝生広場等」「商業施設」「コンベンション施設」があります。

「公園・芝生広場等」は、広く来訪者を受け入れるエントランスや、キャンパスの延長として利用される空間となり、また、和歌山公園に繋がるオープンスペースとなります。ここでは、マルシェや各種イベントなどにぎわいを創出するための積極的な管理運営を行い、市民に開かれた滞留、交流機能を持つ公共スペースにすることが有効と考えられます。

「商業施設」の併設は、市民会館や大学の利用者にとって利便性が高まるとともに、両施設の利用者以外の一般市民、ビジネスマン、観光客などの集客も期待できます。ここでは、コンビニエンスストアやカフェ、特色あるレストラン、屋台などの飲食サービスの他、本市の特産品やミュージアムショップのような記念品等を販売する店舗等が有効と考えられます。

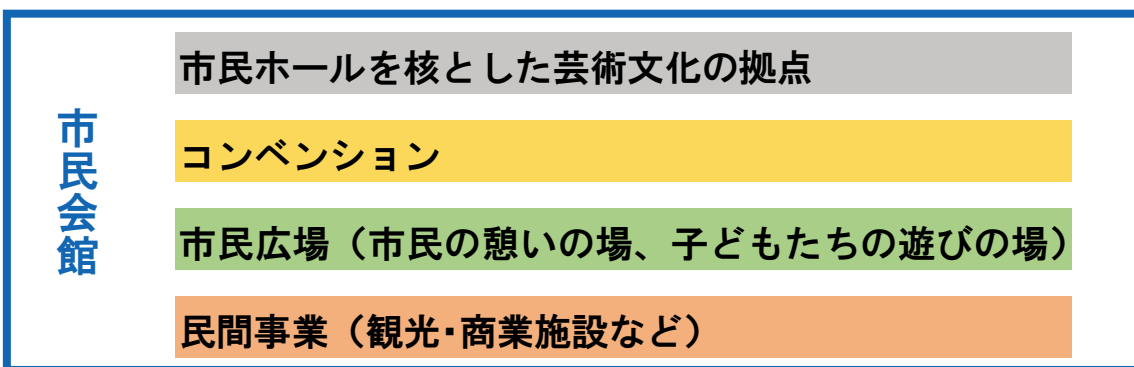
「コンベンション施設」については、市民会館の様々な機能を共有できることから併設の効果が高く、大学にとっても学会や各種イベントを行う上で有効といえます。また、隣接して宿泊や食事・宴会サービスが提供できるシティホテルがあることや、本市のシンボルである和歌山城を見渡せるロケーションなどの立地条件からも効果的であると考えられます。

## 11. 伏虎中学校跡地活用の基本的な方向

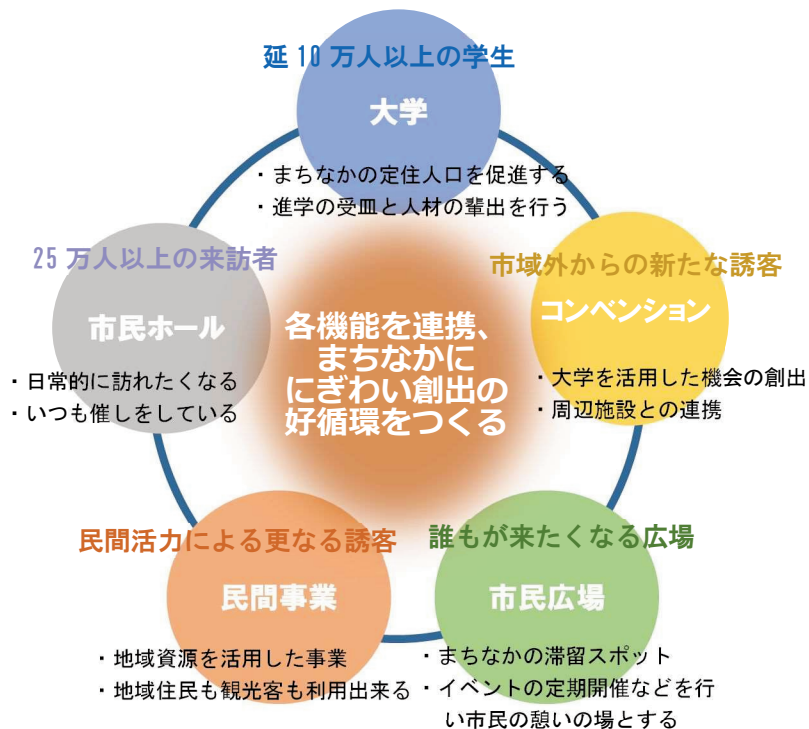
土地利用の評価及び併設用途の検討より、伏虎中学校跡地活用は「市民会館」「大学」と、相乗効果を生む併設用途「公園・芝生広場等」「コンベンション施設」「商業施設」「観光関連施設」を配置する方向とし、「商業施設」「観光関連施設」については民間活力の活用を検討してくうえで、伏虎中学校跡地活用の基本的な方向を以下のように設定します。

### <<伏虎中学校跡地活用の基本的な方向>>

伏虎中学校跡地は、**市民会館と大学を核として「各機能を連携し、まちなかににぎわい創出の好循環をつくる」**拠点となるよう活用します。



### 大学（和歌山県立医科大学薬学部）の誘致

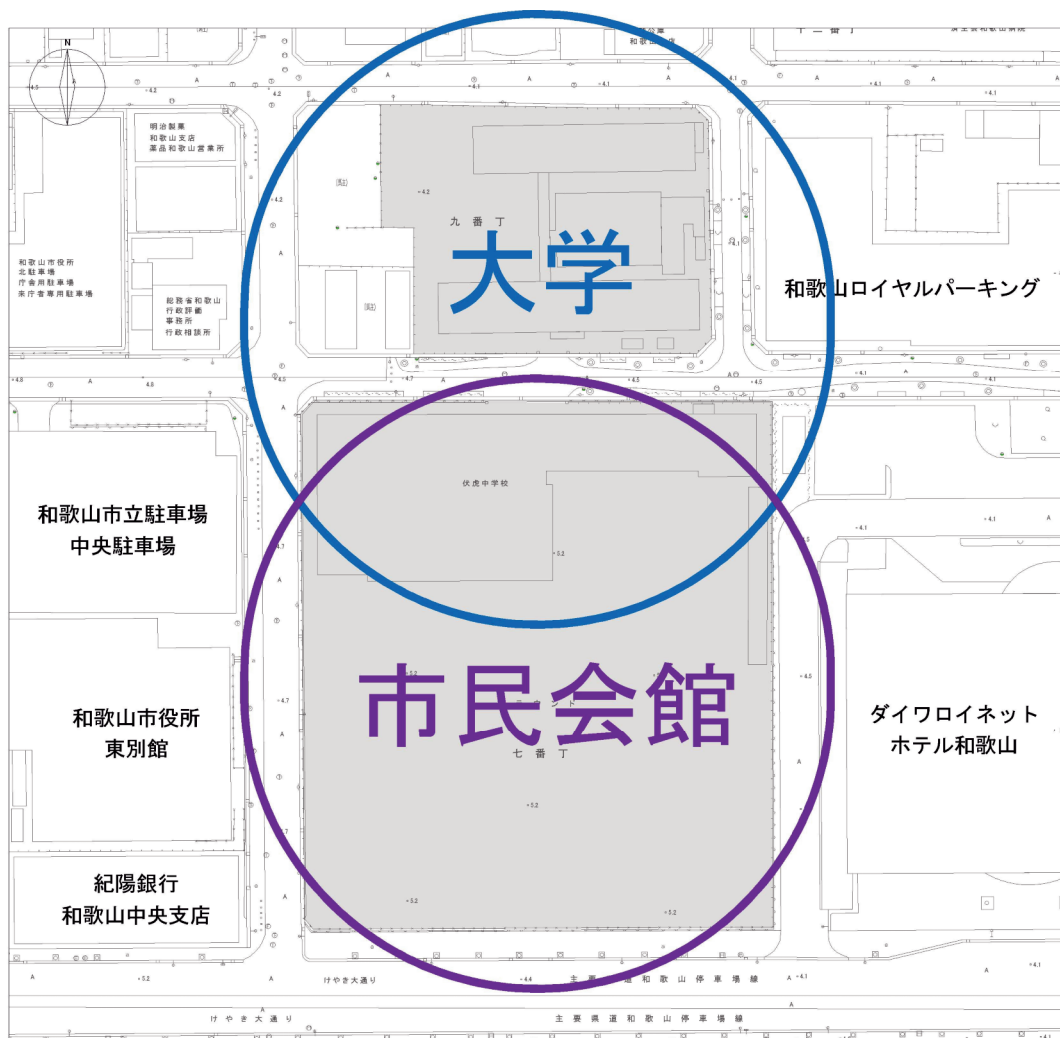


## 11.1. 敷地活用の配置イメージ

市民会館は、多様な機能を備え、多くの市民や国内外の来訪者に開かれた公共性・集客性の高い施設となることを目指します。一方、大学は学問や研究をする場として一定の独立性・機密性が必要となります。

両施設の有する特性に配慮し、市民会館は、和歌山城に面したロケーションが活かせ、観光客などの人通りが多いけやき大通りと繋がる敷地の南側に配置します。一方、和歌山県立医科大学薬学部は、市民会館の敷地北側に配置することを基本として検討・調整を進めます。

図表 11.1 敷地活用の配置イメージ





# 伏虎中学校跡地活用基本構想

## 市民会館構想

平成 28 年 3 月

和歌山市



## 目 次

「市民会館基本構想」の策定にあたって.....	1
1. 国や他の自治体の動向.....	1
2. 上位関連計画.....	2
3. 現在の市民会館.....	3
3.1. 現在の市民会館の敷地位置.....	3
3.2. 施設概要.....	4
3.3. 利用状況.....	5
3.4. 運営状況.....	7
3.5. 建物状況.....	8
3.6. 現在の市民会館の課題.....	9
4. 市民の意向.....	10
4.1. 市民アンケート調査.....	10
4.1.1. 現在の市民会館について.....	11
4.1.2. 新たな市民会館について.....	12
4.2. 市政世論調査.....	14
4.3. 市民会館建替えに関するアンケート調査.....	16
4.3.1. 現在の市民会館について.....	16
4.3.2. 新たな市民会館について.....	19
4.4. ワークショップ.....	23
4.4.1. 現在の市民会館について.....	23
4.4.2. 新たな市民会館について.....	25
4.5. 市民発信の意見.....	31
4.6. 調査等からの市民ニーズの分析.....	33
4.7. 市民ニーズからの課題.....	35
5. 市民会館再整備の考え方.....	36
5.1. 再整備の検討.....	36
5.2. 移設先の伏虎中学校跡地.....	37
5.2.1. 新市民会館の位置.....	38
5.2.2. 伏虎中学校跡地内の敷地検討地.....	40
6. 他市の市民会館整備事例.....	41
6.1. 近年、建設された多目的でコンパクトな施設.....	41
6.2. 運営の工夫により多くの人々に利用されている施設.....	44
6.3. 市民会館を取り巻く動向.....	45

7. 新市民会館の新たな可能性	46
7.1. ジャンル別のホール需要	46
7.2. 市民会館利用の需要	47
8. 課題の整理	48
9. 新市民会館の基本理念	49
10. 新市民会館の基本方針	50
10.1. 新市民会館の基本方針	50
10.2. 新市民会館の施設整備の方針	52
10.3. 新市民会館の施設運営の方針	53
11. 実現に必要な機能	54
12. 主な施設	55
12.1. 施設構想	61
12.2. 施設配置イメージ	62
12.2.1. 施設の配置パターン	62
12.2.2. 主な施設のつながり	63
12.2.3. 敷地周辺との動線イメージ	64
12.3. 建物イメージ	65
12.4. 概算事業費	66
13. 景観について	66
13.1. 景観整備の考え方	66
13.2. 市民会館建設予定地にかかる景観等に関する制限について	67
14. 管理運営	68
14.1. 運営組織	68
14.2. 専門の知識を持った人材の配置と活用	70
14.3. 管理運営の方向性	72
15. 整備手法	73
15.1. 民間活力の活用を含む事業手法	73
15.2. 民間活力導入の可能性と検討手順	74
16. 整備スケジュール	75
17. 管理運営、施設整備の検討課題	76



## 図 表 目 次

図表 3.1	現在の市民会館の位置	3
図表 3.2	ホールの概要	4
図表 3.3	ホールの年間稼働率の推移グラフ	5
図表 3.4	展示室の年間稼働率の推移グラフ	6
図表 3.5	会議室の年間稼働率の推移グラフ	6
図表 3.6	練習室の年間稼働率の推移	6
図表 3.7	和室の年間稼働率の推移	6
図表 3.8	市民会館・県民文化会館の「土日祝」の稼働率	7
図表 3.9	市民会館の設備劣化	8
図表 4.1	市民アンケート：文化活動別の市内の施設利用状況	11
図表 4.2	市民アンケート：新市民会館に重要なもの	12
図表 4.3	市民アンケート：新市民会館のメインホール	13
図表 4.4	市民アンケート：新市民会館のメインホール以外の施設	13
図表 4.5	市政世論調査：市民会館の移設について	14
図表 4.6	市政世論調査：新市民会館の市民ホールについて	14
図表 4.7	市政世論調査：新市民会館に必要な設備について	15
図表 4.8	市民会館建替えに関するアンケート（利用者）：現在の市民会館の満足度	17
図表 4.9	市民会館建替えに関するアンケート（利用者）：現在の市民会館の利用状況	17
図表 4.10	市民会館建替えに関するアンケート（利用者）：普段の練習会場	18
図表 4.11	市民会館建替えに関するアンケート（利用者、来場者）：新市民会館整備で重要なもの	20
図表 4.12	市民会館建替えに関するアンケート（利用者、来場者）：新市民会館のホール席数	21
図表 4.13	市民会館建替えに関するアンケート（利用者、来場者）：新市民会館でホール以外に必要なもの	22
図表 4.14	ワークショップ記録：現在の市民会館の意見	24
図表 4.15	ワークショップ記録：新市民会館の目指すべき方向	27
図表 4.16	ワークショップ記録：新市民会館の主要施設	28
図表 4.17	ワークショップ記録：新市民会館の施設	29
図表 4.18	ワークショップ記録：新市民会館の付属施設	30
図表 4.19	「新音楽ホール建設 嘆願書」（抜粋）	31
図表 4.20	市民意向：和歌山市民会館についての要望書（抜粋）	32

図表 4.21	市民意向：伏虎中学校跡地利用に関する要望書（抜粋）	32
図表 4.22	市民の意向のまとめ	33
図表 5.1	再整備手法の検討	36
図表 5.2	伏虎中学校跡地活用の基本的な方向	37
図表 5.3	新市民会館移設地	38
図表 5.4	新市民会館の敷地検討地	40
図表 7.1	ホール別のジャンル別の（貸館事業）公演回数の推移	46
図表 7.2	市民アンケート：市民会館を利用したきっかけ	47
図表 12.1	施設配置パターン	62
図表 12.2	主な施設のつながりと来館出入口	63
図表 12.3	敷地動線	64
図表 14.1	組織体制別のメリット、デメリット	68
図表 14.2	新たな市民会館に求められる業務	69
図表 14.3	専門の知識を持った人材の活用例	70
図表 14.4	民間活力の活用を含む事業方式	73
図表 14.5	整備スケジュール	75

## 「市民会館基本構想」の策定にあたって

---

芸術文化は、人々を感動させ、創造性を育み、表現力を養うだけでなく、多くの人の価値を共有し合い、人と人をつなぎ、多様な存在を認めあうなどの社会の熟度を高める力も持っています。また、文化の力は、地域経済を活性化させ、心豊かで活力ある社会の形成や都市の魅力づくりには欠かせない存在です。

和歌山市においても、多くの市民の参加により、市民文化まつりや和歌山市美術展覧会をはじめ様々な芸術文化活動が活発に行われています。これらの活動の中心となっているのが和歌山市民会館であり、芸術文化の拠点として市民に親しまれています。

現在の市民会館は、昭和 54 年、和歌山市七番丁（現在の市役所用地）にあった市民会館を、市制施行 90 周年事業の一つとして現在の場所に建設したもので、開館から 37 年が経過しています。老朽化が進行しているとともに、耐震性に課題を有しており、市民が安全かつ快適に利用できる施設として整備することが急務となっています。

「市民会館基本構想」は、現状の分析や市民の意見把握を行い、市民会館の基本コンセプトとそれを実現するための必要機能などについてまとめたものです。

### 1. 国や他の自治体の動向

---

芸術文化の振興を図るためには、芸術文化活動を行う者の自主性を尊重することを旨としつつ、文化芸術を国民の身近なものとし、それを尊重し大切にしよう包括的に施策を推進していくことが不可欠となります。国においては文化芸術の振興についての基本理念を明らかにしてその方向を示し、文化芸術の振興に関する施策を総合的に推進するための「文化芸術振興基本法」が平成 13 年 11 月 30 日に成立し、同年 12 月 7 日に公布・施行されました。

また、全国の自治体の多くでは、文化の拠点としての活用だけでなく、多目的な活用ができ、周辺の施設と規模や機能の差別化を図るなど、魅力あるまちづくりの拠点となるような会館が建設されています。

## 2. 上位関連計画

和歌山市における各種計画においては、芸術文化について「市民の芸術・文化活動を促進」「若年層に対するワークショップ、講演会などの事業の充実」「市民に質の高い文化に触れる機会を増やす」「文化団体との連携、芸術文化の情報提供と交流」といった方針が示されています。

### ■まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標Ⅳ	文化・芸術・スポーツの振興（文化・芸術に親しめる環境づくり）
内容 主な事業	市民の文化・芸術活動を促進するとともに、日頃の活動の成果を発表するなど、文化を発信する場としての市民会館を移転新設する。

### ■教育振興基本計画（基本施策 9-1 文化活動の推進）

文化団体 との連携	効果的な文化的活動 ・ 様々な団体の活動内容やニーズの把握 ・ 行政と団体、各団体間で連携を深めあう仕組みの構築 ・ 情報の共有化
文化活動 への支援	文化創造の機運の醸成 ・ 様々な文化芸術活動の内容と行政に対するニーズの把握 ・ それぞれの活動に対する支援の拡充
芸術家の 育成促進	芸術を志す者を増やす ・ 若年層に対するワークショップ、講習会などの事業の拡充 ・ 市民に質の高い文化に触れる機会を増やす
市民会館の 整備・充実	充実した文化振興の拠点となる施設の建設に向けた検討 ・ 伏虎中学校跡地を移転先とする構想の検討 ・ 利用者・利用団体・市民アンケート、ワークショップ等による意見収集

### ■生涯学習基本計画（第2次和歌山生涯学習基本構想）

芸術文化 の普及	活動を行う者の自主性、創造性を十分に尊重しつつ、その能力が十分に発揮されるように環境整備を図る必要がある 市民が芸術を創造し、享受することができるように鑑賞や発表の機会を広く提供 するよう努める ・ 市民文化活動の支援 ・ 芸術文化事業の推進 ・ 芸術文化の情報提供と交流
-------------	---

### 3. 現在の市民会館

#### 3.1. 現在の市民会館の敷地位置

現在の市民会館の敷地は、南海和歌山市駅から徒歩5分の駅近くに位置し、市堀川と道路に挟まれた台形の土地です。

住 所：和歌山市伝法橋南ノ丁7番地

敷地面積：約 9,600 m<sup>2</sup>

延べ床面積：約 18,600 m<sup>2</sup>

図表 3.1 現在の市民会館の位置



現市民会館

### 3.2. 施設概要

現在の市民会館には3つのホールその他、展示室等の諸室があり、それらの概要は以下のとおりです。

ホール施設は、1,406席の大ホール（リハーサル室、楽屋・ゲストルーム6室）と656席の小ホール（リハーサル室、楽屋5室）、平土間（500名収容）の市民ホールの3ホールがあります。その他主な諸室は、展示室（247.3㎡）、会議室（4室）、練習室（3室）、和室（3室）、レストランがあります。

施設内には、地下駐車場が38台分、施設に隣接した用地に市民図書館及び博物館来館者併用の駐車場が150台分あります。

図表 3.2 ホールの概要

		大ホール	小ホール	市民ホール
概要	特徴	コンサートホール、劇場として優れた音響（残響1.96）と照明空間を持つホール	演劇、舞踊、ピアノコンサートなど多様な空間と充実した舞台設備を備えたホール	ピアノ発表会、ダンスパーティ、レセプションなど平土間のホール
	ホール形式	扇型	扇型	シューボックス
	客席形式	ワンスロープ	ワンスロープ	ワンフロア
	舞台形式	プロセニウム	プロセニウム	プロセニウム
収容		1,406席	656席	500名
客席	固定席	1,243席	537席	—
	可動席	155席	111席	—
	車椅子用席	8席	8席	—
椅子		—	—	350名
机		—	—	150名
舞台	間口	18.0m	14.4m	9.0m
	奥行	12.6m	9.0m	3.6m
	高さ	9.0m	7.2m	2.7m
	オーケストラピット	有	有	—
	迫り	大、中、小	—	—
	音響反射板	有	有	—
	能舞台	—	有	—
	ピアノ	有	有	有
	映写装置	16mm、35mm	16mm、35mm	—
	ミラーボール	—	—	有
リハーサル室		219㎡	117㎡	—
楽屋		5	5	—
控室		ゲストルーム	—	1

### 3.3. 利用状況

3つのホールや展示室等の諸室の平成22年度から平成26年度までの利用状況について整理します。

平成26年度は、以下のとおりとなっています。

大ホール（1,406席）の稼働率は29.1%（年間利用者93,513人）であるのに対し、規模の小さな小ホール（656席）の稼働率は46.0%（年間利用者76,406人）、市民ホールの稼働率は48.7%（年間利用者18,990人）と約4～5割となっており、大ホールより多く利用されています（図表3.3）。

展示室の稼働率は63%（年間利用者17,348人）で、各諸室で最も利用されています（図表3.4）。

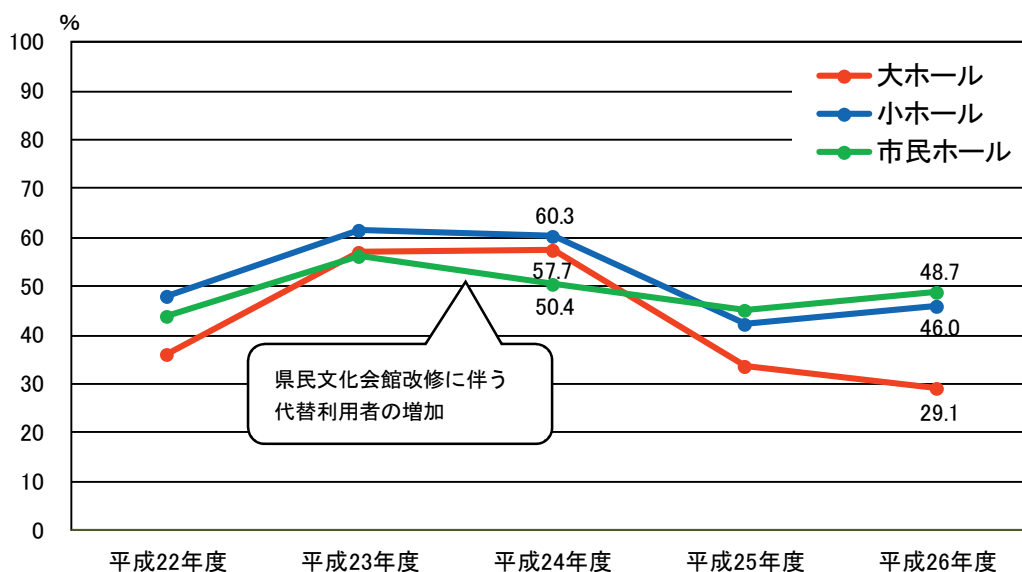
会議室は4室あり、そのうち利用料金が安価で中規模（77㎡）である第2、3会議室の稼働率が若干多く25.9%、15.0%となっています（図表3.5）。しかし、会議室の利用者は各諸室の中でも少なく、4室の合計の年間利用者は7,059人となっています。

練習室は3室あり、そのうち利用料金が安価で小規模（64㎡、68㎡）である第2、3練習室の稼働率が多く47.7%、41.0%と約4～5割の稼働率となっています（図表3.6）。3室の年間利用者の合計は21,385人と小ホールに次いで多くなっています。

和室の稼働率は、第1和室と第2,3和室で11.6%、10.6%と低く、年間利用者も1,751人となっています（図表3.7）。

これらの動向は、県民文化会館改修に伴い代替利用者の増加があった平成23年度、平成24年度を除き、平成22年度から平成26年度まで共通しています。

図表 3.3 ホールの年間稼働率の推移グラフ

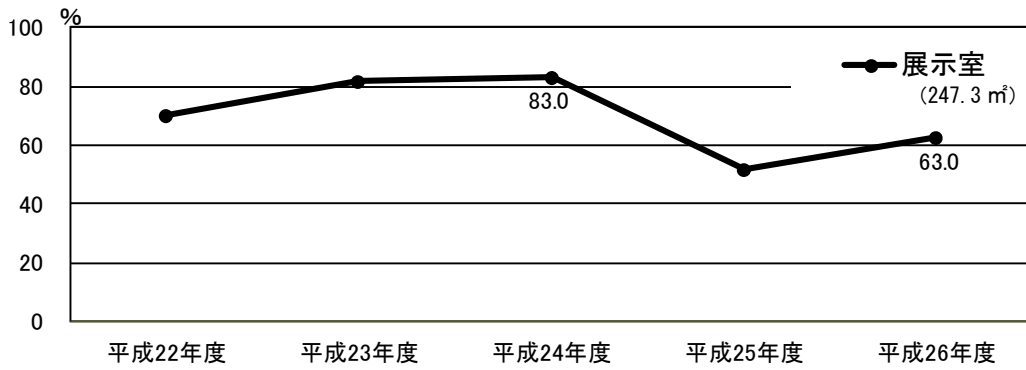


稼働率 = A (利用コマ数) ÷ B (総コマ数) × 100

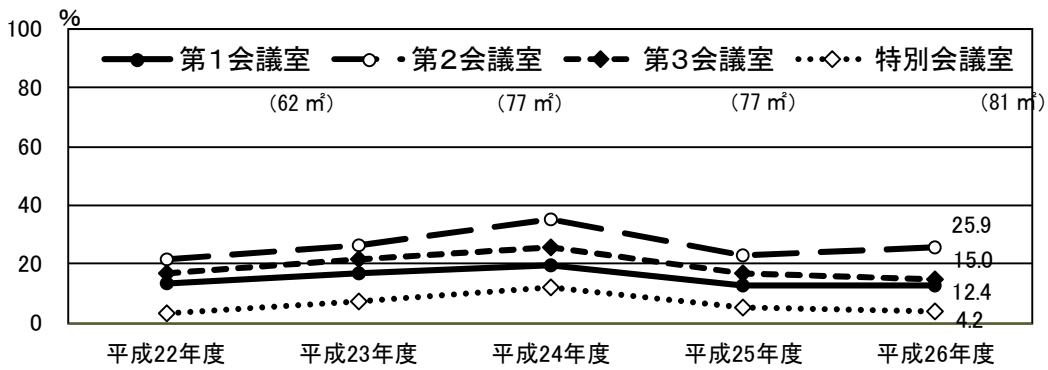
A : 利用コマ数 = 利用区分 (午前、午後、夜間) ごとの利用件数合計

B : 総コマ数 = 利用可能日数 × 3 (午前、午後、夜間)

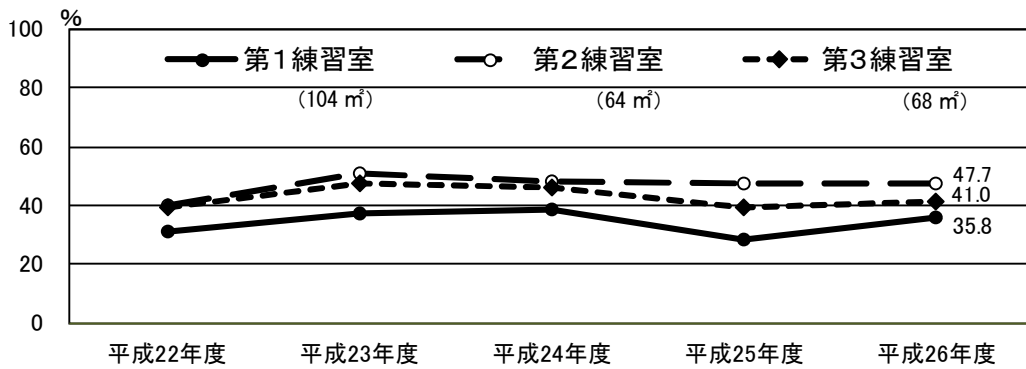
図表 3.4 展示室の年間稼働率の推移グラフ



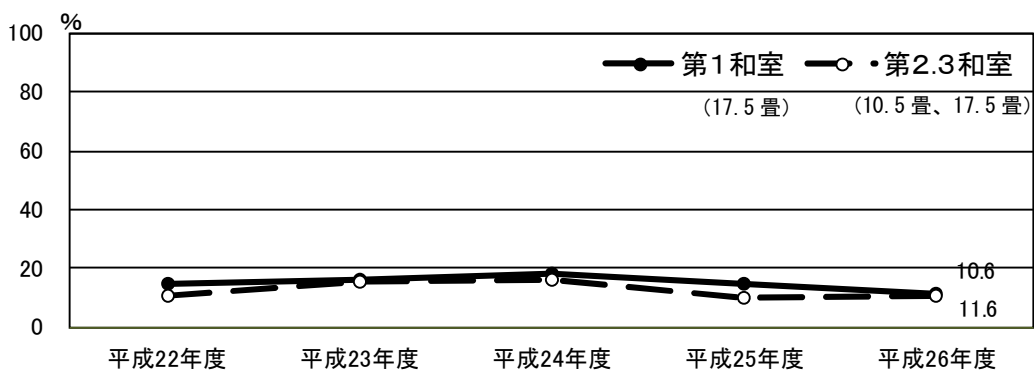
図表 3.5 会議室の年間稼働率の推移グラフ



図表 3.6 練習室の年間稼働率の推移



図表 3.7 和室の年間稼働率の推移





### ■ 県民文化会館との比較

和歌山県民文化会館と土日祝の稼働率を比較すると、市民会館と県民文化会館はともに稼働率が高く、特に小ホールはそれぞれ 88%と 95%をなっており、1館ではまかないきれない需要があると想定されます。

図表 3.8 市民会館・県民文化会館の「土日祝」の稼働率

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
市民会館	大ホール (1,406 席)	89%	63%	74%
	小ホール (656 席)	94%	79%	88%
	市民ホール (平土間 500 名)	82%	80%	87%
県民文化会館	大ホール (2,000 席)	—	73%	81%
	小ホール (328 席)	—	90%	95%

### 3.4. 運営状況

和歌山市では、市民会館の管理運営について、利用サービスの向上と施設のより効果的な運営を図るため、平成 18 年度から指定管理者制度を導入しています。

現在の市民会館の指定管理者は、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団であり、市民会館の他、和歌の浦アート・キューブや市内のスポーツ体育施設、コミュニティセンターなどの指定管理業務も行っています。

市民会館の職員数は 11 人で、運営全体の責任者である館長 1 名、芸術に関する責任者は配置していません。これは、市・特別区 30 万人以上の 108 施設の平均職員数 17 人と比べ少ない人数となっています。

### 3.5. 建物状況

#### ■耐震性

新耐震基準が導入された昭和 56 年以前に建築された現在の市民会館は、地震によって倒壊、崩壊する危険性が高く（Is 値 0.21）、安全確保のため耐震化が急務となっています。

Is 値（構造耐震指標）とは、耐震診断により建物の耐震性能を示す指標で、国土交通省では Is 値 0.6 以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省では学校の耐震強度は Is 値 0.7 以上を保つよう求めています。

- Is 値 0.3 未満 : 大規模な地震により倒壊や崩壊の危険性が高い建物です。
- Is 値 0.3 以上 0.6 未満 : 大規模な地震により倒壊や崩壊の危険性がある建物です。
- Is 値 0.6 以上 : 大規模な地震に対して倒壊や崩壊の危険性が低い建物です。

#### ■老朽化

劣化度調査では、耐久年数を超える設備機器が大多数を占め、現行関連法令・法規に準拠対応が困難な為、現状既存設備機器及びシステムの存続は不可能であるとの結果となっています。

築 37 年を経た施設・設備は劣化が激しく、配水管の腐食、排水管の損壊・漏水、外壁タイルの落下等、劣化箇所が増加しています。埋設された設備等を含めた大規模な設備更新が必要になっています。

図表 3.9 市民会館の設備劣化



コンクリート部分の劣化による雨漏り



排水管の損壊・漏水



配水管の腐食



経年変化によるタイルの落下

現在、市民会館は基準に適合しない既存不適格建築物となっています。改修する場合は、現行法令に基づき消防用設備の設置や駐車場の設置などの改善策が必要となります。

### 3.6. 現在の市民会館の課題

#### ■市民の文化活動の実態に沿ったホール規模や機能の整備、運用が必要

現在の市民会館では、1,406席と規模の大きなホールの稼働率が低い一方で、656席の小ホールや平土間の市民ホールなど規模の小さなホールの稼働率が高くなっています。また、小ホールの土・日・祝日の稼働率は、市民会館で88%、和歌山県民文化会館で95%となっており、1館だけでは、まかないきれない需要があると想定されます。このようなことから、適正な規模のホールの整備が求められます。

ホール以外では、稼働率の高い展示室や練習室などの利用をより一層増進するとともに、稼働率の低い会議室や和室などのあり方についても検討し、適正な規模に整備することが求められます。

#### ■市民が安全かつ快適に利用できる文化施設の整備が急務

市民の安全が約束され、快適に利用できる施設となるために、施設の耐震化や設備の改修が急務となっています。

## 4. 市民の意向

市民の意向は、以下の調査等を抜粋しながら整理します。

### 市民アンケート調査

- ・和歌山市立伏虎中学校跡地活用に関するアンケート調査（平成 27 年 7 月）

### 市政世論調査

- ・平成 27 年度市政世論調査（平成 27 年 10～11 月）

### 市民会館建替えに関するアンケート調査

- ・和歌山市民会館利用者アンケート調査（平成 27 年 4～7 月）
- ・和歌山市民会館来場者アンケート調査（平成 27 年 4～7 月）

### ワークショップ

- ・伏虎中学校跡地に移転予定の新たな市民会館を考えるワークショップ  
（平成 27 年 7～9 月 5 回）

### 市民発信の意見

- ・新音楽ホール建設嘆願書（平成 27 年 3 月）
- ・和歌山市民会館についての要望書（平成 27 年 4 月）
- ・伏虎中学校跡地利用に関する要望書（平成 27 年 8 月）

### 4.1. 市民アンケート調査

「和歌山市立伏虎中学校跡地活用に関するアンケート調査」の結果から市民の意向を整理します。

調査名：和歌山市立伏虎中学校跡地活用に関するアンケート調査

調査日：平成 27 年 7 月

調査対象：15 歳以上の市民に郵送アンケート

回収率：回答数 870 件 / 2,000 件（43.5%）

調査内容：伏虎中学校周辺の来訪動向、現在の市民会館の利用動向、  
新しい市民会館の建設について、伏虎中学校跡地利用について

#### 4.1.1. 現在の市民会館について

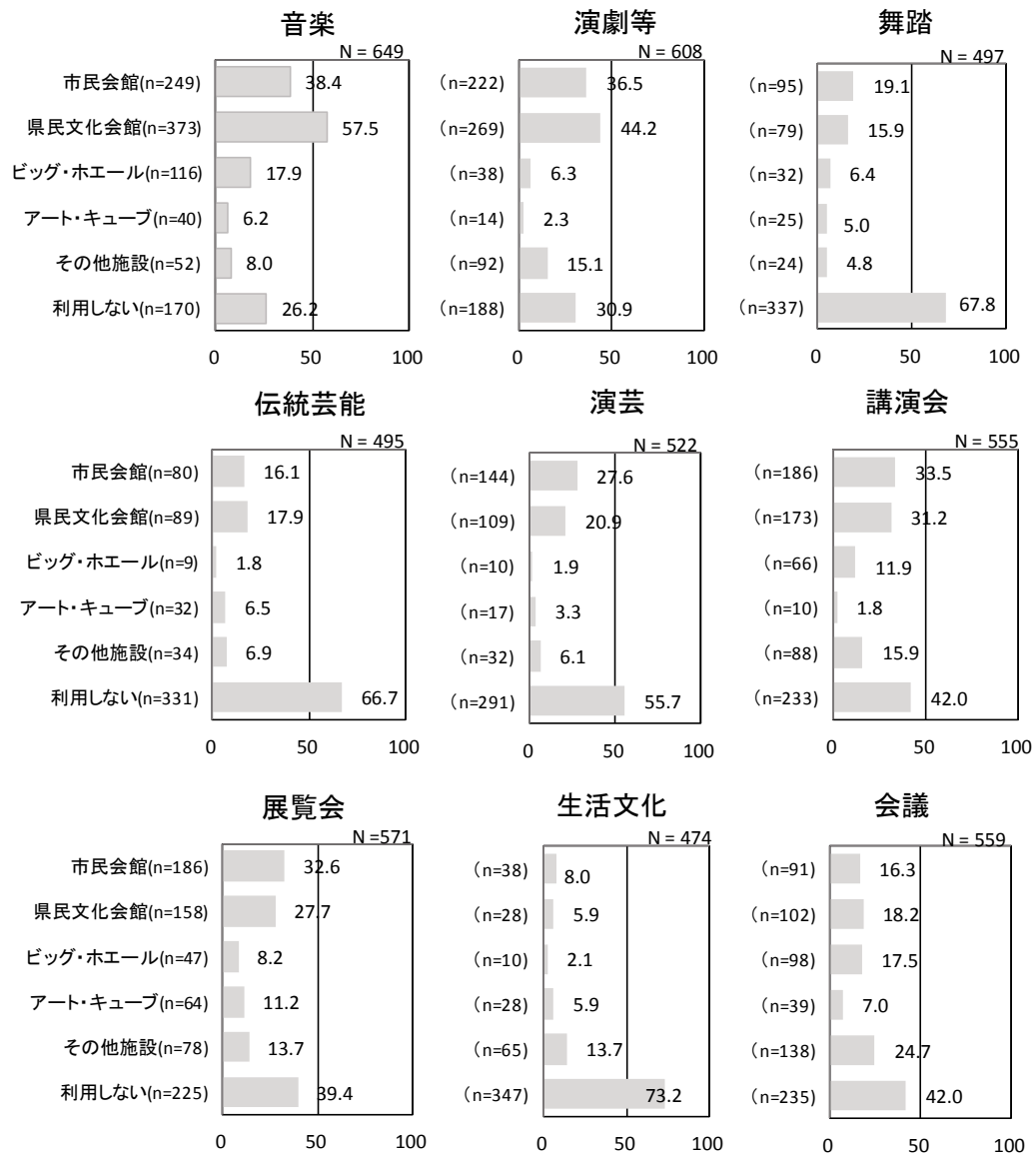
調査の結果から、現在の市民会館の利用実態を把握します。

- 「音楽」「演劇等」「講演会」「展覧会」は市民会館、県民文化会館を多く利用
- 「音楽」「演劇等」は、県民文化会館の利用者が若干多い

市内で開催される「音楽」「演劇等」「講演会」「展覧会」では、約3割の人が市民会館と県民文化会館を利用しています。

図表 4.1 市民アンケート：文化活動別の市内の施設利用状況

文化活動・イベントでどんな施設を利用しますか。(複数回答)



#### 4.1.2. 新たな市民会館について

調査の結果から、新たな市民会館に望まれている機能や施設を把握します。

- **新市民会館に必要なものは「駐車場」「バリアフリー」「鑑賞しやすい座席」「飲食・喫茶機能」が多い**
- **メインホールは「多目的」「1,000席以上」が多く、サブホールも「多目的」が多い**

新市民会館で重要なものは、「駐車場」66.5%と最も多く、続いて「バリアフリー」52.1%、「鑑賞しやすい座席」50.4%、「飲食・喫茶機能」47.0%となっており、利便性を向上する機能についての回答が多くなっています（図表 4.2）。

メインホールは、「多目的」60.6%と多くを占め、「音楽専用」22.9%や「演劇等専用」5.2%など専門性のあるホールを求める回答は少なくなっています（図表 4.3 上）。

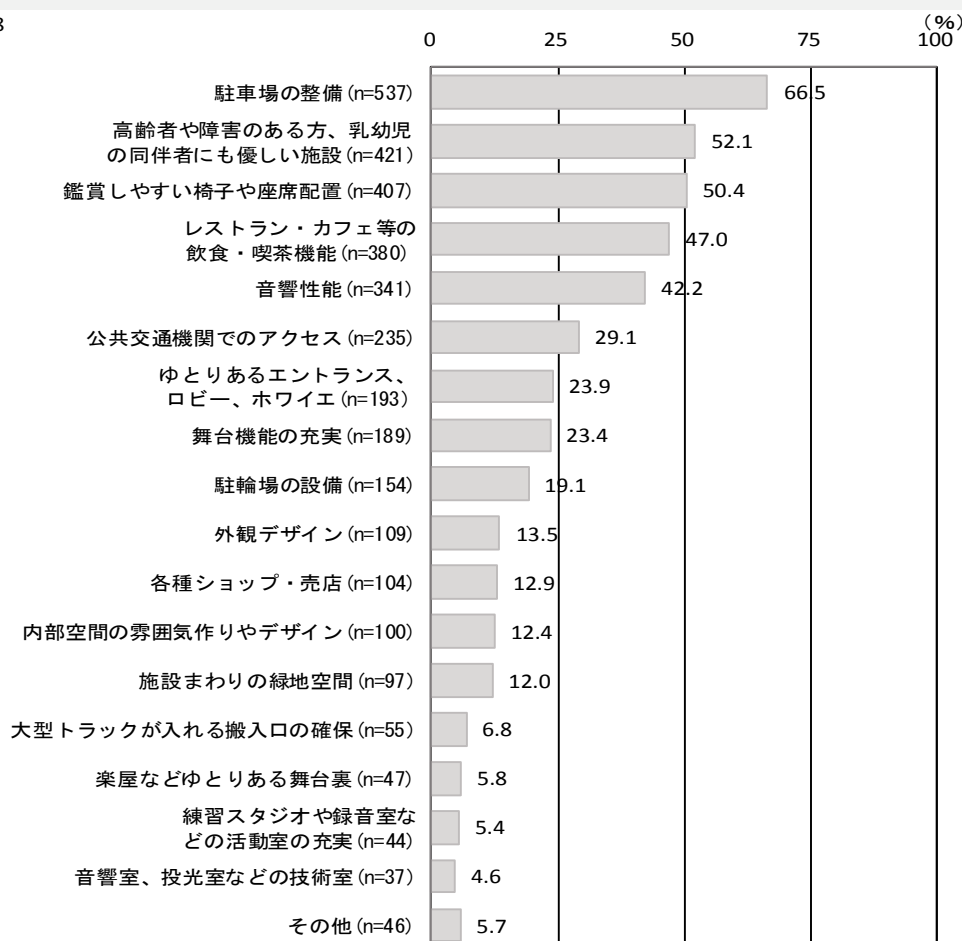
メインホールの席数では、「1,000席以上」の大きな規模を求める回答が60.0%と最も多く、次いで「800～1,000席」28.9%となっています（図表 4.3 下）。

メインホール以外では、「多目的スペース」を求める意見が多く55.3%を占めています（図表 4.4 上）。次いで「市民ホール」が望まれており、タイプでは「多目的」が63.3%と多く、用途では「発表会」や「コンサート」といった意見が多くなっています（図表 4.4 下）。

図表 4.2 市民アンケート：新市民会館に重要なもの

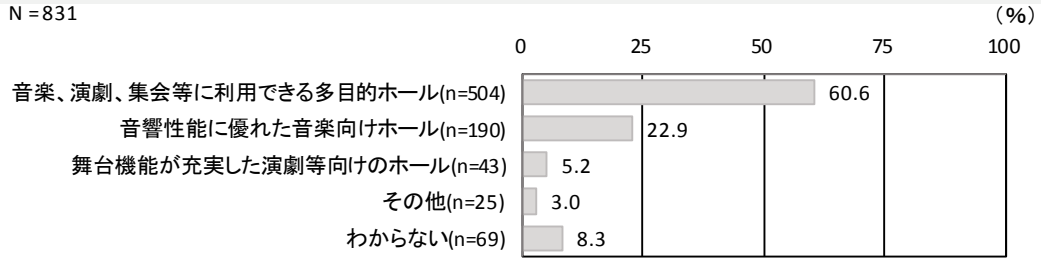
新しい市民会館に特に重要だと思われる項目は何ですか（5つまで複数回答）

N = 808

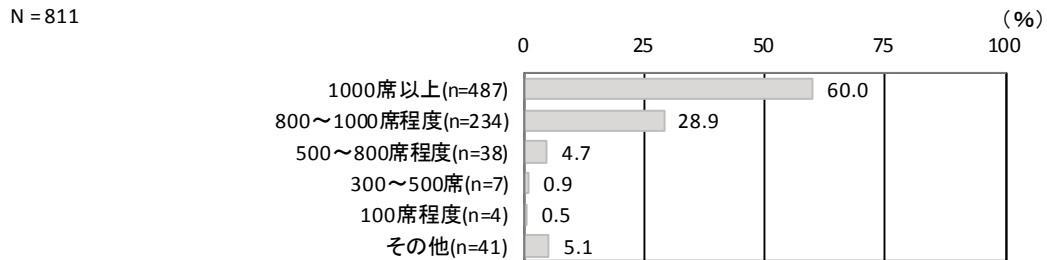


図表 4.3 市民アンケート：新市民会館のメインホール

メインホールとして望ましいと思うタイプはどのようなものですか。(単一回答)

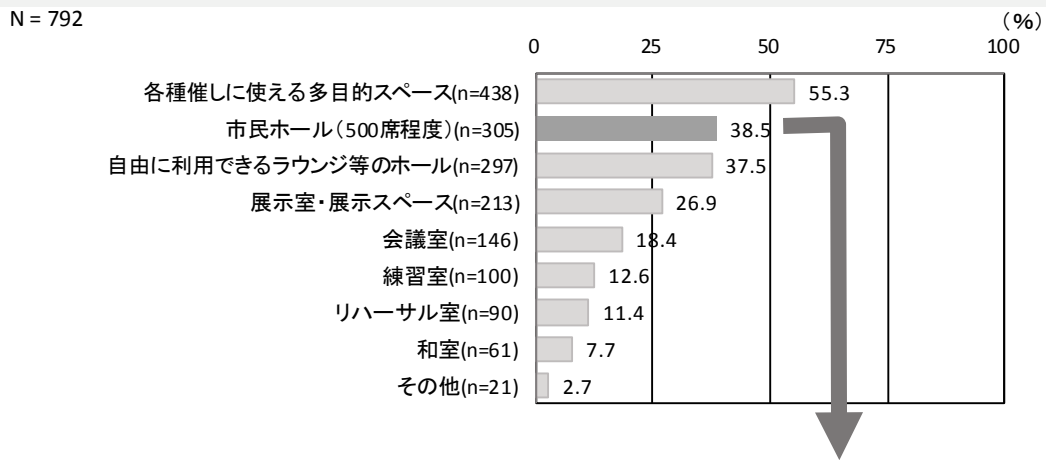


メインホールの席数については、どの程度がよいと思われますか。(単一回答)

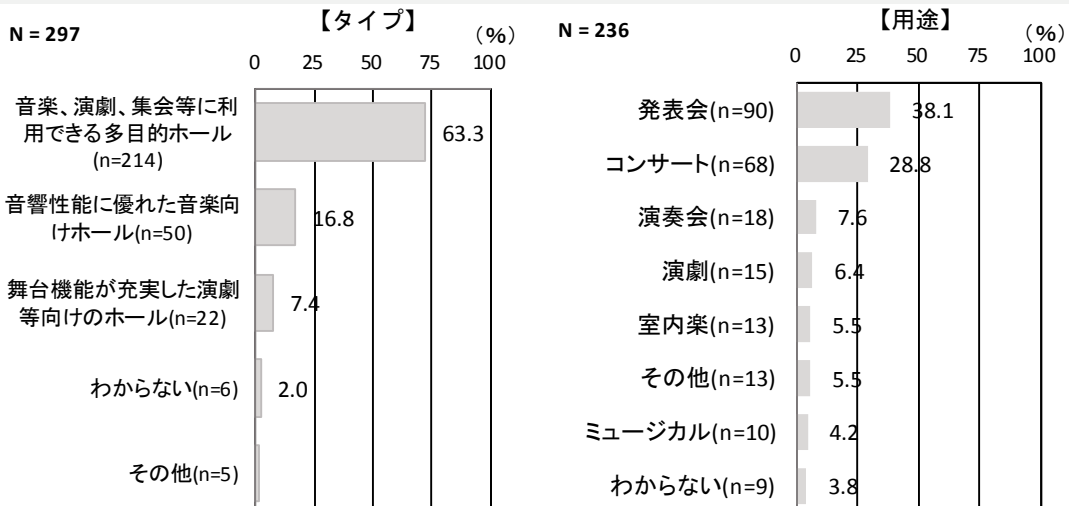


図表 4.4 市民アンケート：新市民会館のメインホール以外の施設

メインホール以外の施設について、必要と思われるものは何ですか。(複数回答)



市民ホールに望ましいと思う【タイプ】や【用途】はどのようなものですか。(単一回答)



## 4.2. 市政世論調査

「平成 27 年度市政世論調査」より、市民会館に関する部分を抜粋して整理します。

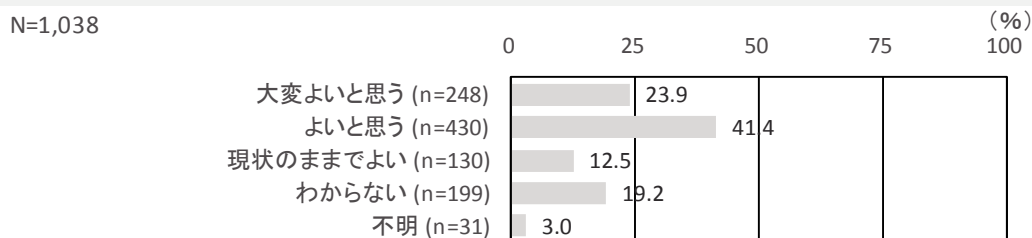
- **6 割以上が市民会館の移設に賛成**
- **市民ホールは多目的なものが求められている**
- **「駐車場」「バリアフリー」「飲食・喫茶機能」「鑑賞しやすい座席」を求められている**

伏虎中学校跡地に新しい市民会館を移設することについて、「大変よい」23.9%、「よいと思う」41.4%で約 6 割以上が市民会館の移設に賛成しています（図表 4.5）。市民ホールについては「音楽、演劇、集会等に利用できる多目的ホール」66.1%と最も多い意見となっています（図表 4.6）。

新しい市民会館に求められている設備は、「駐車場」が多く 48.2%を占めています。「高齢者や障害のある方、乳幼児を同伴された方にも優しい施設」「鑑賞しやすい椅子や座席配置」「レストラン・カフェ等の飲食・喫茶機能」など、より多くの人利用しやすくなるような設備を求める意見が多くなっています（図表 4.7）。

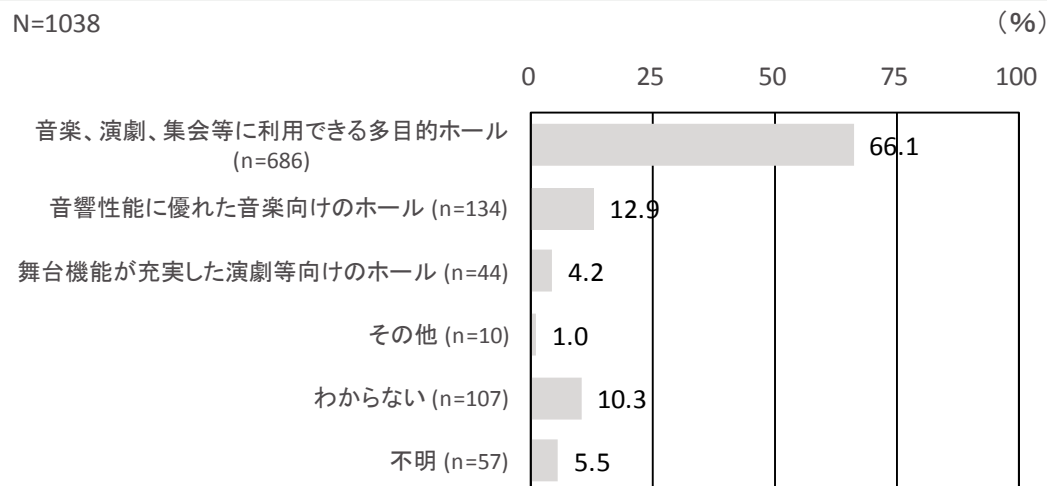
図表 4.5 市政世論調査：市民会館の移設について

伏虎中学校跡地に新しい市民会館を移設することについて、どのように思いますか。（単一回答）



図表 4.6 市政世論調査：新市民会館の市民ホールについて

市民ホールについて、望ましいと思うタイプはどのようなものですが。（単一回答）



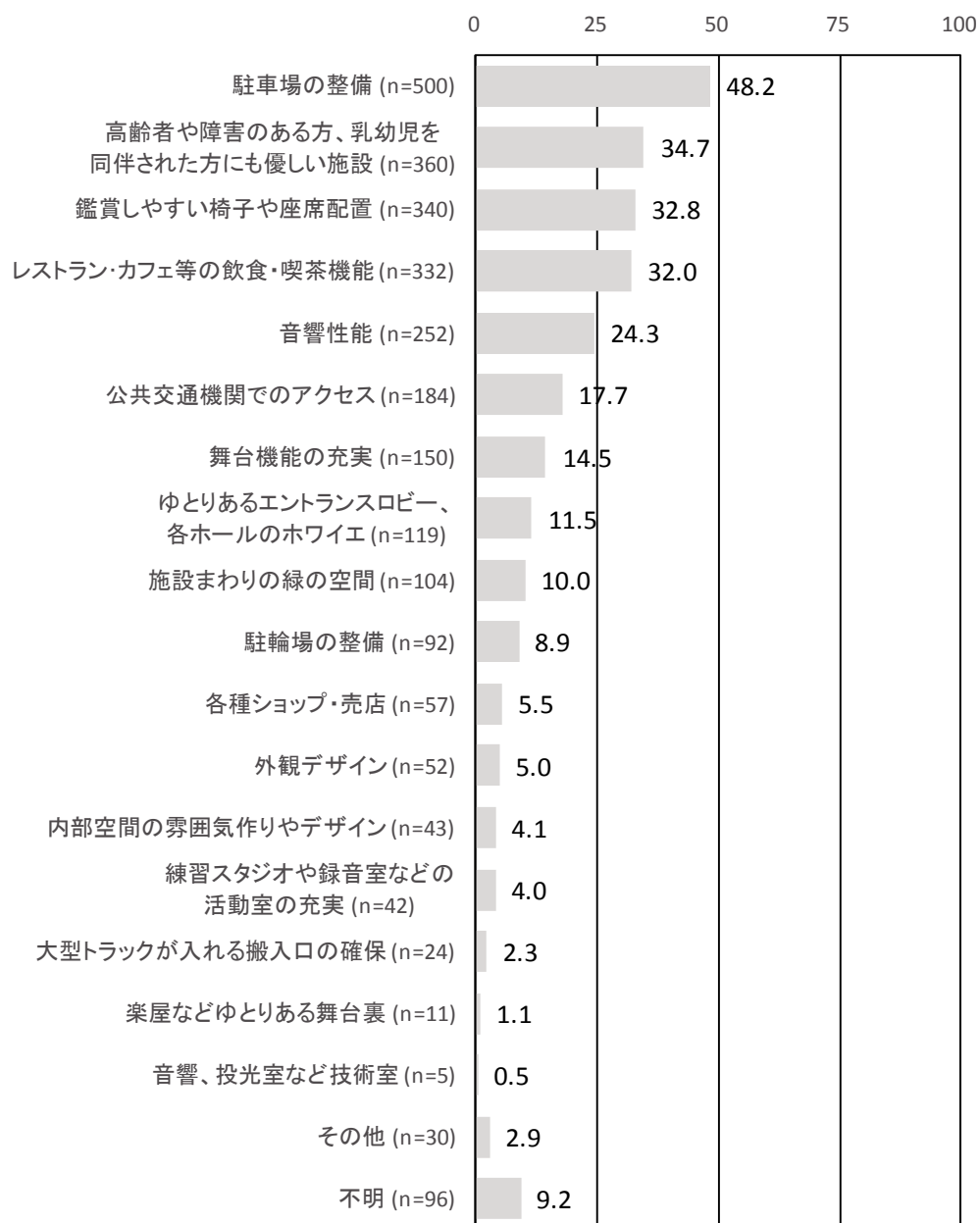


図表 4.7 市政世論調査：新市民会館に必要な設備について

新しい市民会館を建設する場合、どのような設備を望みますか。(複数回答)

N=1,038

(%)



### 4.3. 市民会館建替えに関するアンケート調査

「和歌山市民会館利用者アンケート調査」及び「和歌山市民会館来場者アンケート調査」の結果から利用者や来場者の意見を整理します。

調査名：「和歌山市民会館利用者アンケート調査」  
調査日：平成27年4～7月  
調査対象：市民会館を利用した個人や団体  
回収率：回答数61名  
調査内容：利用した施設、現在の市民会館、新しい市民会館について

調査名：「和歌山市民会館来場者アンケート調査」  
調査日：平成27年4～7月  
調査対象：市民会館の来場者  
回収率：回答数1,234名  
調査内容：新しい市民会館について

#### 4.3.1. 現在の市民会館について

「和歌山市民会館利用者アンケート調査」から、現在の市民会館の利用実態を把握します。

- 総合的な現在の市民会館の満足度は、満足・やや満足・普通が85.7%
- 利用状況を機能別に確認すると、小ホール、練習室の割合が高い
- ホールの公演コマ来場者は300～800名が最も多い
- 練習はほとんどが市民会館以外を利用し、その多くがコミュニティセンターを利用

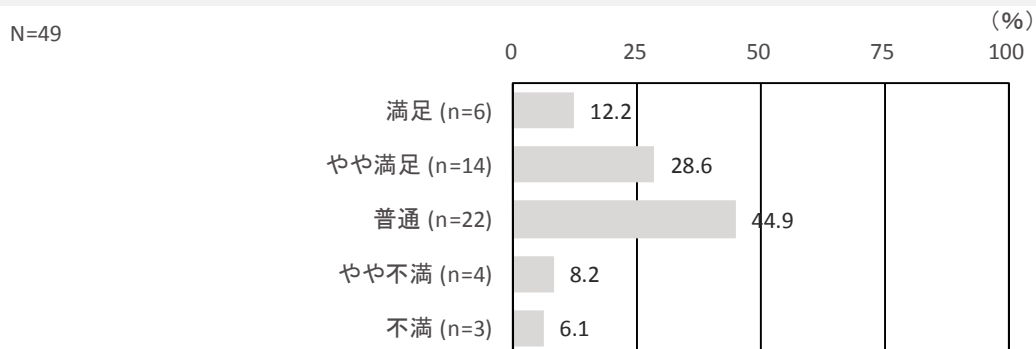
総合的な現在の市民会館の満足度は、満足・やや満足が40.8%、普通が44.9%を占めて、多くの方が不満を感じていません（図表4.8）。

小ホール、練習室を利用する利用者・団体が多く、続いて大ホール、会議室となっています（図表4.9上）。

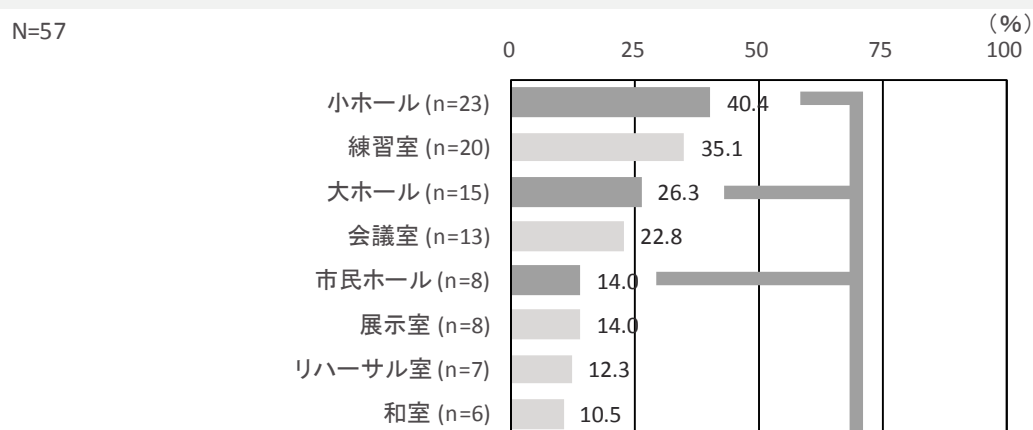
大ホール、小ホール、市民ホールの来場者数は「500名以上、800名未満」26.8%、「300名以上、500名未満」22.0%であり、2つの区分を足した300名以上、800名未満は、48.8%で約半数を占めています。（図表4.9下）

練習会場では75.6%が市民会館以外を利用し、その多くがコミュニティセンターを利用しています（図表4.10）。

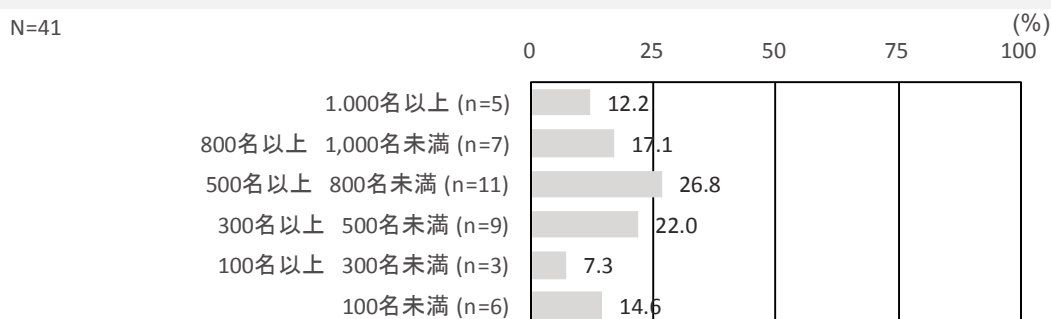
図表 4.8 市民会館建替えに関するアンケート（利用者）：現在の市民会館の満足度  
施設の規模、設備内容、利用料金など総合的な観点から、現在の市民会館について満足度をお聞かせ  
ください。（単一回答）



図表 4.9 市民会館建替えに関するアンケート（利用者）：現在の市民会館の利用状況  
どの施設をご利用になりましたか。（複数回答）

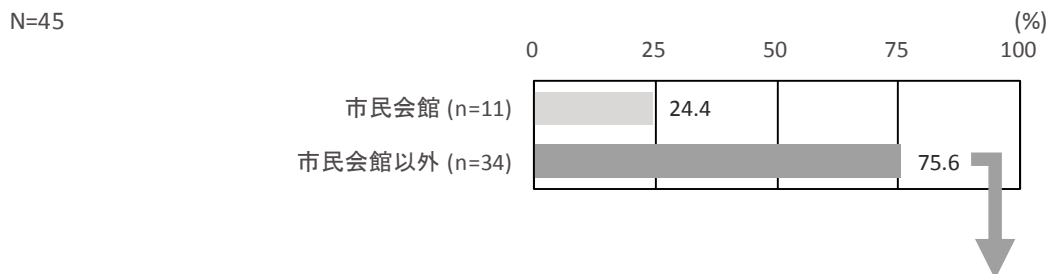


大ホール、小ホール、市民ホールを利用した団体の来場者の人数はどれくらいでしたか。（単一回答）

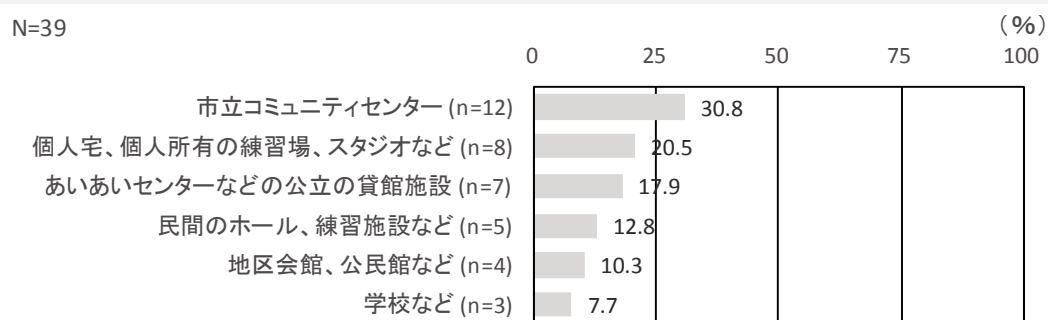


図表 4.10 市民会館建替えに関するアンケート（利用者）：普段の練習会場

平素どこで練習されていますか。（単一回答）



市民会館以外の練習会場は。（記述回答）



#### 4.3.2. 新たな市民会館について

「和歌山市民会館利用者アンケート調査」及び「和歌山市民会館来場者アンケート調査」から、新たな市民会館に望まれている機能や施設を把握します。

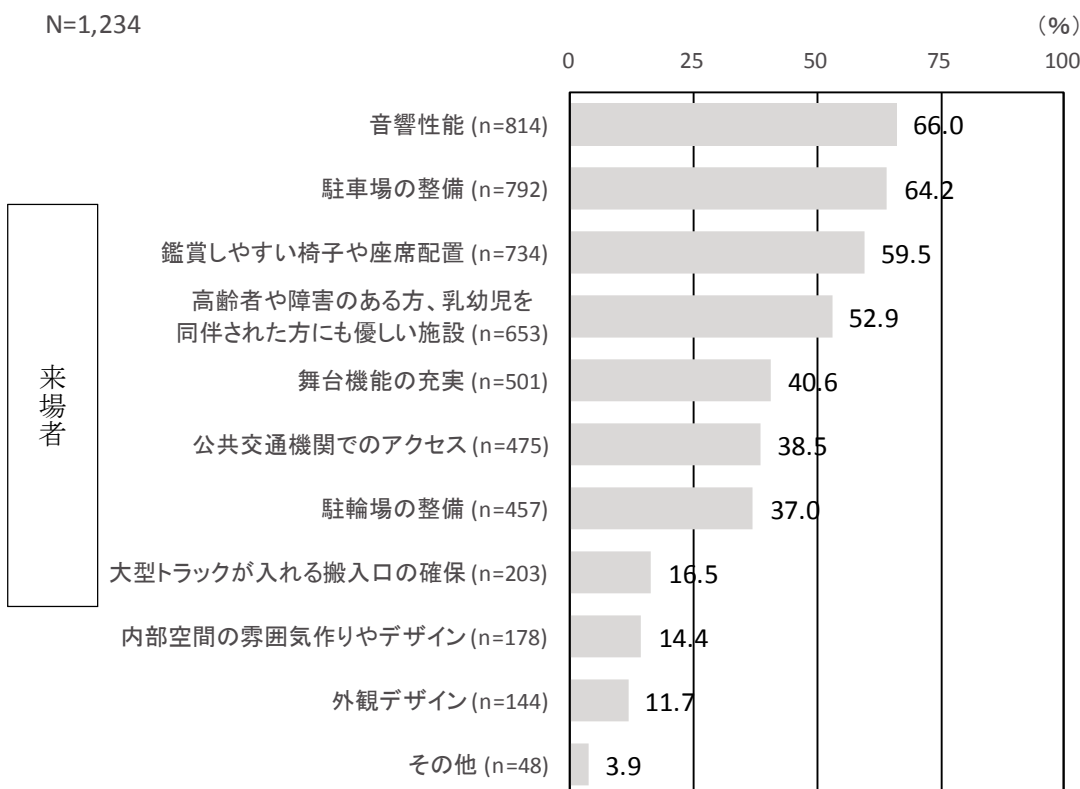
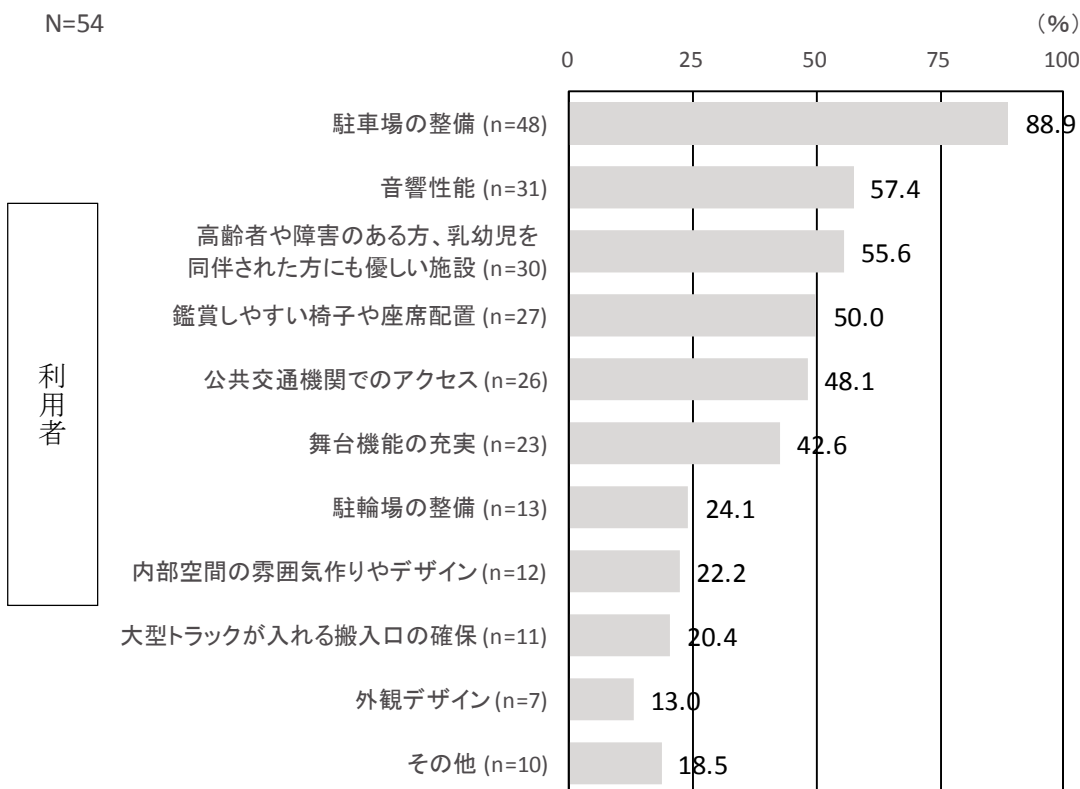
- **建設で重要なものは「駐車場の整備」「音響性能」「あらゆる人に優しい施設」「鑑賞しやすい座席」が多い**
- **ホールの席数は「800～1000席」が多い**
- **メインホール以外で必要なものは「飲食施設」が最も多い**

建設で重要なものは、利用者の意見では「駐車場の整備」が突出して多く 88.9%を占め、続く 2 位以降は 5 割台で「音響性能」57.4%、「あらゆる人に優しい施設」55.6%、「鑑賞しやすい座席」50.0%が続いています（図表 4.11 上）。一方、来場者の意見では、「音響性能」66.0%で多く、「駐車場の整備」64.2%「鑑賞しやすい座席」59.5%、「あらゆる人に優しい施設」52.9%と続き、利用者の意見の上位 4 位と同じ項目になっています（図表 4.11 下）。

望ましいホールの席数は、利用者、来場者ともに「800～1000席」が多くそれぞれ 36.2%、40.8%と約 4 割を占めています（図表 4.12）。続く 2 位についても利用者、来場者ともに「1,000席以上」で、それぞれ 23.4%、32.4%となっています。利用者だけを見ると、3 位の「500～800席」も 21.3%で僅差となっており、結果として「800～1000席」以外は、意見は分散しています。

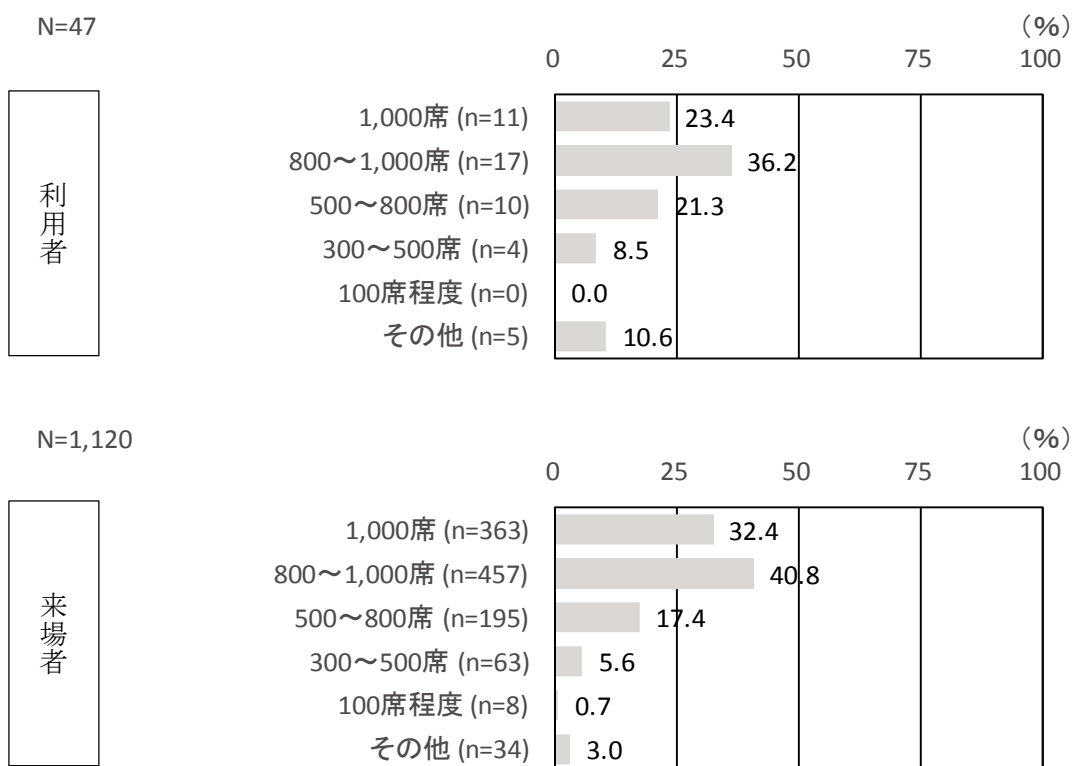
メインホール以外で必要なものは、利用者、来場者ともに「レストラン・カフェ等の飲食施設」が多くそれぞれ 74.1%、60.0%となっています（図表 4.13）。2 位以降は、利用者では「市民ホール（500席程度）」「練習室」「会議室」「コンビニエンスストア・売店等」などの施設を必要とする意見が多く、来場者では「各種催しに使える多目的スペース」「市民ホール（500席程度）」「展示室・展示スペース」などが多くなっています。

図表 4.11 市民会館建替えに関するアンケート（利用者、来場者）：新市民会館整備で重要なもの  
建設にあたり、特に重要だと思われる項目は何ですか。（複数回答）



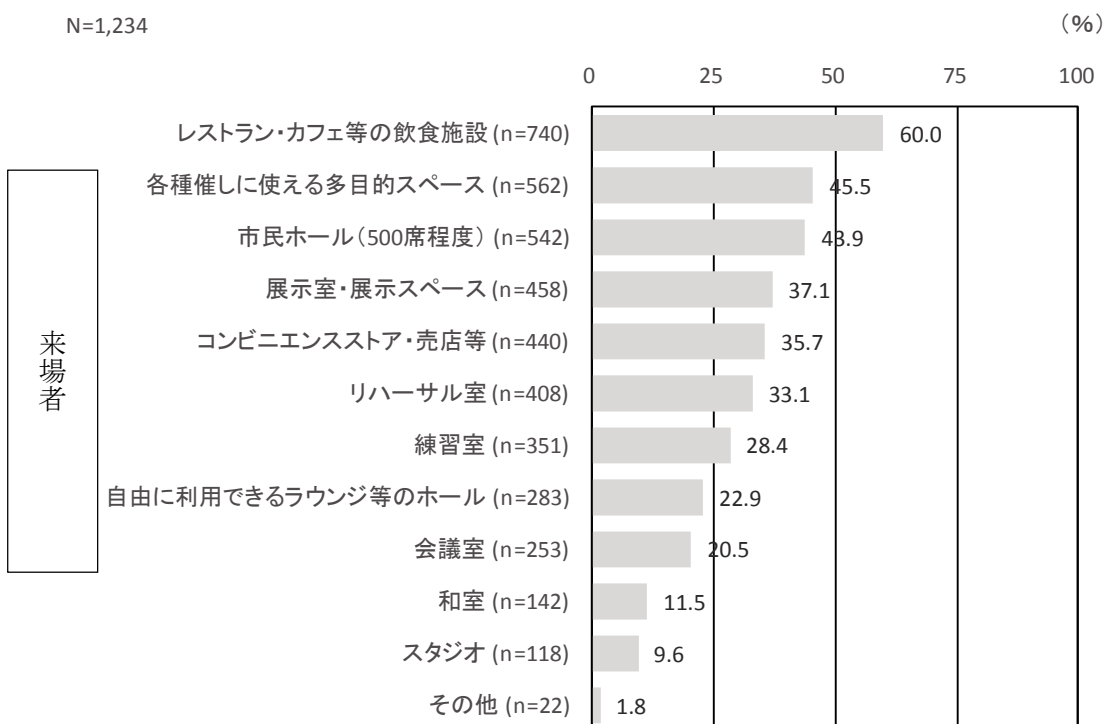
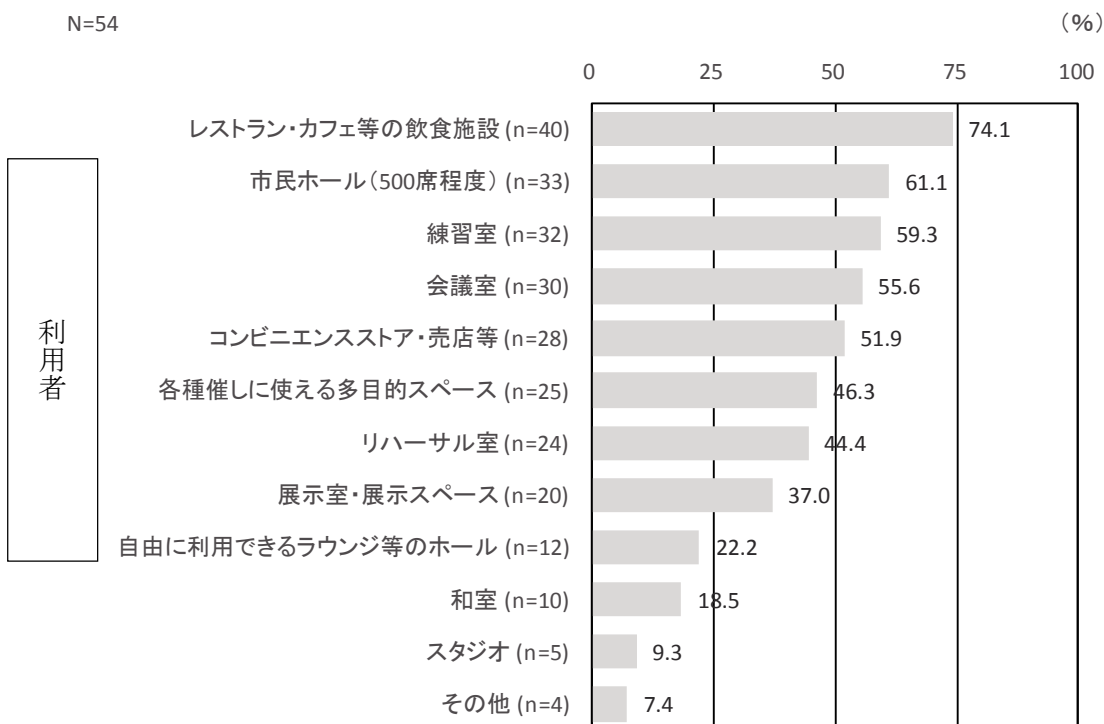
図表 4.12 市民会館建替えに関するアンケート（利用者、来場者）：新市民会館のホール席数

ホールの席数については、どの程度がよいと思われますか。（単一回答）



図表 4.13 市民会館建替えに関するアンケート（利用者、来場者）：新市民会館でホール以外に必要なもの

ホール以外の施設について、必要と思われるものは何ですか。（複数回答）





#### 4.4. ワークショップ

「伏虎中学校跡地に移転予定の新たな市民会館を考えるワークショップ」として、平成27年7～9月に5回にわたり開催したワークショップの概要を示します。

##### 参加者

市民会館利用団体、観光・福祉・建築等の各種団体、自治会、障がい者、高校生など

##### 開催日程とテーマ

第1回 平成27年7月31日（市民会館市民ホール）

「現在の市民会館の問題・課題、新たな市民会館とは・・・」

第2回 平成27年8月10日（市役所14階会議室）

「中心市街地に移る市民会館には、こんな機能・大きさが必要！」

第3回 平成27年8月27日（市民会館第1練習室）

「伏虎中学校跡地に建つ市民会館は、どんな形、どんな配置・・・」

第4回 平成27年9月8日（市民会館第1練習室）

「市民会館をどう使い、何を実現したいですか」

第5回 平成27年9月18日（市民会館第1練習室）

「市民会館でどうしても実現したいこと！！」

##### 4.4.1. 現在の市民会館について

ワークショップから、現在の市民会館の利用実態を把握します。

- |             |  |
|-------------|--|
| ○ <b>施設</b> | <b>好評：ゆとりあるロビー・ホワイエ／利用しやすい規模</b><br><b>不評：駐車場が不便／動線が複雑／老朽化／トイレが不便</b>  |
| ○ <b>運営</b> | <b>好評：誰もが多目的で利用しやすい／料金が安い</b><br><b>不評：施設案内が少ない／情報発信が少ない／専門スタッフが不在</b> |
| ○ <b>立地</b> | <b>好評：駅に近い／前庭の緑地</b><br><b>不評：敷地周辺との連携がない／周辺にくつろげる場所がない</b>            |

施設の良いところは、ゆとりあるロビー・ホワイエや利用しやすい規模といった意見が多く、悪いところでは、図書館、博物館の3館併用駐車場の駐車台数が少ないことや出庫時に渋滞すること、入口が2階にあり動線が複雑となっていること、老朽化、トイレが不便といった評価となっています（図表 4.14 表上段）。

運営については、誰もが多目的で利用しやすい、料金が安いところを良いところとし、悪いところとしては、施設案内が少ない、情報発信が少ない、専門スタッフが不在といった点があげられています（図表 4.14 表中段）。

施設の立地条件として、駅近で交通の便利が良いことや前庭の緑地が立派に育っている点を良いところとしてあげる意見が多くありました（図表 4.14 表中段）。一方で、敷地周辺の商業施設等との連携がない、周辺にくつろげる場所がないという意見がありました。

図表 4.14 ワークショップ記録：現在の市民会館の意見

	良いところ	悪いところ
施設・設備	<p>○建物 ロビーが大きく美しい／美しく誇らしい建物／ゆったりとした空間／「素晴らしいホール」と客演の方々がほめてくれる／市民会館として独立した建物</p> <p>○ホール 3つの多様なホール 【大ホール】 <u>利用しやすい規模</u>／音響効果 【小ホール】 <u>利用しやすい規模</u></p> <p>○施設・設備 部屋数が多い／充実した施設 【楽 屋】 楽屋、リハーサル室は満足 【展 示】 利用しやすい</p>	<p>○駐車場 <u>少ない</u>／使いづらい／狭い／図書館との複合利用で不便／団体バスのスペースがない／出庫に時間がかかる／駐輪場が不足</p> <p>○ホール 音楽ホールがない／座席の間隔が狭い／バックヤードが狭い／県民文化会館とだぶっている／ホールの動線が悪い／アッパダウンが多い／出口が混雑 【大ホール】 声が届かないポケットがある／クラシック向け音響がよくない</p> <p>○施設・設備 老朽化／雨漏り／トイレが少ない／洋式トイレがない／車いすの出入り口が一般と区別／搬入口は大型車を横付けするのが大変／倉庫が狭く使いづらい／空調が効きすぎる／ロビーが暗い／外から中が見えない 【楽 屋】 少ない／狭い 【展 示】 搬入場所がない 【練習室】 部屋が少ない！安くて広い練習スペース 【会議室】 部屋が少ない</p>
運営・利用	<p>○利用 誰もが多目的に利用しやすい／いろいろな団体が使える／学校の校外授業などに使用</p> <p>○スタッフ スタッフの対応</p> <p>○利用料・利用時間 利用料が安い</p>	<p>○利用 一般利用（プレイヤー以外）が使用しづらい／予約するのに1年前からでは長すぎる／施設案内がない／緊急の時の案内（障がい者用等）がない</p> <p>○企画 情報発信していない／独自の魅力的な企画が少ない／若い人が集まる催し物が少ない</p> <p>○スタッフ コーディネーターや専門スタッフが不在</p> <p>○利用料・利用時間 延長料金等のオプション料金が安い／利用時間の制約／駐車場料金が安い</p>
その他	<p>○交通 <u>駅に近く交通が便利</u>／場所がよい</p> <p>○外構 前庭の緑地</p>	<p>○交通 市民ホールまでの交通案内が不足／街中（中心市街地）から離れている</p> <p>○外構 周辺との一体感がない／川沿いとして水辺利用がない／広場が使いにくい</p> <p>○その他の利用 利用者以外は来ない施設／周辺にくつろげるところがない／！カフェとかで学生も利用しやすく／！市民が散歩しながら歩けるルート</p>

※下線は各グループで共通して話題となったもの  
！は悪いところの改善案

#### 4.4.2. 新たな市民会館について

ワークショップから、新たな市民会館に望まれている機能や施設について概要を把握します。

##### ソフト面

- 全市的な文化振興の方針、各施設の役割分担が必要
- 運営には、市民や団体が関われる仕組みや専門スタッフの配置が必要
- 文化振興のため人材発掘・育成が必要
- 所用や目的のない人も立ち寄れる施設

##### ハード面

- 誰もが使いやすい施設、設備の整備
- 最新機能を搭載した施設、設備の整備
- 大きさ重さに対応した搬入、ストック機能
- お城を活かした施設、設備の整備
- 駐車場の確保、公共交通の確保
- 市民会館に付属する機能は観光、飲食、物販、交流、広場、周辺との連携

##### ソフト面（図表 4.15）

ソフト面では、和歌山市の文化芸術振興に関する中長期的なビジョン・基本方針が必要といった意見や、運営は小さな団体や市民も参画できる組織をつくり、市民が関わっていける仕組みが求められるといった意見がありました。

人材としては、市民会館では技術的ノウハウのある専門スタッフなどふさわしい人材配置が必要といった意見や、芸術文化に関わる若い人材を積極的に発掘・育成することが求められるとの意見がありました。

また、中心市街地に位置する条件から、和歌山城への来訪者や、市民会館に直接所用や目的のない人でも気楽に立ち寄れるような工夫が必要との意見がありました。

##### ハード面（図表 4.16、図表 4.17、図表 4.18）

メインホールでは、県民文化会館と競合しない規模として、800～1,000 席の音楽性能を重視したホール、演劇にも対応できる多目的ホール、座席はゆとりがありすわり心地のよいもの、障がい者に配慮した音声解説システム、舞台と同規模のリハーサル室といった意見がありました。

サブホールでは、客席は 500 席程度でメインホール同様、音楽や演劇に対応できるホールとの意見がありました。また、映像や字幕が映せる壁・反響板や LED 等の最新設備、国際会議ができるコンベンション設備、幼児観覧室（授乳室）の整備が必要との意見がありました。

その他の諸室として、展示室は常設スペース、可動パネルを備え、市美術展覧会の開催に対応できるもの、美術館の機能を果たせるもの、各団体の成果発表ができるものなどといった機能を求める意見がありました。搬出入では、6～11トントラックへの対応、大きいもの・重いものの搬出入の工夫、大型エレベーターが必要との意見がありました。練習室では、ピアノの配備、防音、レコーディング室、夜遅くまで利用ができるといった意見がありました。

施設案内では、わかりやすい案内表示、音声案内、磁気誘導ループ等が必要といった意見があり、トイレでは、女性ブースを多く、化粧スペースの確保、多目的トイレの設置などの意見がありました。

ロビーについては、気軽に訪れた市民や観光客がくつろげるスペースとして、お城を眺めるラウンジや喫茶コーナーが欲しいとの意見がありました。

また、駐車場では周辺駐車場と連携するなど駐車台数を確保する、閉演時に集中する出庫車のスムーズな処理についての意見が多くありました。

市民会館に付属する施設としては、観光機能（テラス、みやげ物販売、城郭鑑賞スポット）やホールの営業時間にかかわらず利用できる飲食機能（レストラン、カフェ）、物販機能（各種ショップ、本屋、花屋、マーケット、コンビニ）、交流機能（フリースペース、ランニングステーション、レンタサイクル）や、広場（芝生、木陰ベンチ、噴水、幼児スペース、ステージ）の配置、周辺施設との連携（和歌山城やロイネットホテルとの連続性）が必要といった様々な意見がありました。

図表 4.15 ワークショップ記録：新市民会館の目指すべき方向

	目指すべき方向
まちづくりに寄与し周辺と調和する施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホール以外の施設も充実した施設、駐車場から施設までまちづくりを考えた周辺づくり</li> <li>・ 城下町の趣を活かした市民が自慢したくなる様な機能を持った施設</li> <li>・ 都市空間のある市民に親しまれる建物にしてほしい</li> <li>・ にぎわい創出、和歌山市元気復活の為に、和歌山城に続く第2のラウンドマークの建設を</li> <li>・ いろいろなお店があり、人々が集まるところ（兵庫県立文化センター）</li> <li>・ 目的外の人でも来れる施設（通りがかりの人が木陰を利用）</li> <li>・ 隣に和歌山県立医科大学薬学部を置き、連絡通路で結ぶ。会館はコンパクトに内部充実に</li> <li>・ 広いオープンスペースがあり、ぶらくりイベントとの連携など、屋外ステージ（野外ホール）や広場を庭にもつホール</li> <li>・ 大学と併設されるなら景観的に一体感を</li> <li>・ 外部が緑に覆われている様にしてほしい（建物が主張しない）。建物を出ても余韻にひたれる空間に</li> <li>・ 市民がアクセスしやすいように</li> <li>・ 新しい市民会館には市立美術館が必要と思う</li> </ul>
新しい市民会館の機能・性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座席の間隔を広く、座席に傾斜をつける</li> <li>・ 常に市民が集える市民会館</li> <li>・ 音楽ホール</li> <li>・ 700～900人収容の音楽専用ホール</li> <li>・ 上質の音のホール（800人程度のシューボックス型）</li> <li>・ 中ホール（800～1000席）</li> <li>・ 屋根付き駐車場（とくに障がい者用）</li> <li>・ ホール関係の充実（便利な搬入口／多機能な設備、とくに音）</li> <li>・ 室内からみる城の景観（北堀側のやぐらの復元）</li> <li>・ 聴覚障がい者、字幕で内容がわかる設備</li> <li>・ 内容の充実した、子ども達も大きくなって、誇りに思うホールを建設していただきたい。少なくとも、大・小を備えたホールを、1つではダメ</li> <li>・ 能舞台、楽屋が配置されている</li> <li>・ 座席が広く安定した特別席などを設置してほしい</li> <li>・ 太陽光が入るもっと明るい市民会館に</li> <li>・ 新しい技術ですばらしい会館を希望</li> <li>・ 十分なエントランス、ゆとりのある空間づくり</li> </ul>
新しい市民会館の運営利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新ミュージアムとした場合、その運営について和歌山市美術家協会を設立し、展覧会等企画展の立案をして行い、常設展を開催し市民の美術意識を向上したい。市展は7部門を一堂に展示したい</li> <li>・ 他府県に負けない会館（景観／運営）</li> <li>・ 気軽に使える会館（気軽に利用できる場所／立ち寄りやすい／市民が憩える場／フラットな内部）</li> <li>・ 魅力的な内容・イベント（魅力的なイベントがたくさんある／365日イベント）</li> <li>・ 外よりも中の充実（使い勝手の良さ／運営）</li> <li>・ 将来的な維持、管理を考えたシンプルさ</li> <li>・ 日常と非日常の二面性（生け花の場合は、発表会用と練習用）</li> <li>・ 広い食堂がほしい</li> <li>・ できるだけ多くの市民が利用しやすいホールにしてほしい</li> </ul>

機能・規模についての意見

図表 4.16 ワークショップ記録：新市民会館の主要施設

	機能	配置	規模	特徴	質・性能		
新市民会館 (主要施設)	<b>メインホール</b> 現在：大ホール 規模：1,400席 特性：多目的 設備：客席ワンスロープ／オーケストラピット／大中小迫り／音響反射板／ピアノ／映写装置／リハーサル室／楽屋5	<input type="checkbox"/> 5～8階 <input type="checkbox"/> 1～4階	<input type="checkbox"/> 1,500席 <input type="checkbox"/> 1,000席 <input type="checkbox"/> 900席 <input type="checkbox"/> 800席 <input type="checkbox"/> 700席	<input type="checkbox"/> 多目的 <input type="checkbox"/> 音楽専用 <input type="checkbox"/> 演劇専用 【残響】 <input type="checkbox"/> 固定 <input type="checkbox"/> 可変 【客席】 <input type="checkbox"/> ワンスロープ <input type="checkbox"/> ワンフラット	【舞台】 <input type="checkbox"/> オーケストラピット <input type="checkbox"/> 迫り／奈落 <input type="checkbox"/> 昇降式の舞台 <input type="checkbox"/> 舞台脇の空間確保 【座席】 <input type="checkbox"/> ゆとりある座席間 <input type="checkbox"/> すわり心地よい座席 <input type="checkbox"/> 座席番号の点字表記	【設備】 <input type="checkbox"/> ピアノ・ピアノ倉庫 <input type="checkbox"/> スクリーンにもなる反響版 <input type="checkbox"/> お城を背景にできる舞台 <input type="checkbox"/> 映像や字幕が映せる壁 <input type="checkbox"/> AVホール <input type="checkbox"/> LED等最新の設備 <input type="checkbox"/> 音声解説システム	【楽屋】 <input type="checkbox"/> 8～10室 <input type="checkbox"/> 6～7室 <input type="checkbox"/> ～5室 【リハーサル室】 <input type="checkbox"/> 舞台と同規模 <input type="checkbox"/> 舞台より小規模 【使用方法】 <input type="checkbox"/> 22時まで使用可能
	<b>サブホール</b> 現在：小ホール 規模：656席 特性：多目的 設備：客席ワンスロープ／オーケストラピット／音響反射板／能舞台／ピアノ／映写装置／リハーサル室／楽屋5 現在：市民ホール 規模：500名 特性：多目的 設備：客席ワンフラット／ピアノ	<input type="checkbox"/> 5～8階 <input type="checkbox"/> 1～4階	<input type="checkbox"/> 800席 <input type="checkbox"/> 700席 <input type="checkbox"/> 600席 <input type="checkbox"/> 500席 <input type="checkbox"/> 400席 <input type="checkbox"/> 300席 <input type="checkbox"/> 200席	<input type="checkbox"/> 多目的 <input type="checkbox"/> 音楽専用 <input type="checkbox"/> 演劇専用 【残響】 <input type="checkbox"/> 固定 <input type="checkbox"/> 可変 【客席】 <input type="checkbox"/> ワンスロープ <input type="checkbox"/> ワンフラット	【舞台】 <input type="checkbox"/> オーケストラピット <input type="checkbox"/> 迫り／奈落 <input type="checkbox"/> 昇降式の舞台 <input type="checkbox"/> 舞台脇の空間確保 【座席】 <input type="checkbox"/> ゆとりある座席間 <input type="checkbox"/> すわり心地よい座席 <input type="checkbox"/> 座席番号の点字表記 【催し物】 <input type="checkbox"/> 漫才・お笑いステージ	【設備】 <input type="checkbox"/> ピアノ・ピアノ倉庫 <input type="checkbox"/> スクリーンにもなる反響版 <input type="checkbox"/> お城を背景にできる舞台 <input type="checkbox"/> 映像や字幕が映せる壁 <input type="checkbox"/> AVホール <input type="checkbox"/> LED等最新の設備 <input type="checkbox"/> 音声解説システム <input type="checkbox"/> 国際会議ができる設備	【楽屋】 <input type="checkbox"/> 8～10室 <input type="checkbox"/> 6～7室 <input type="checkbox"/> ～5室 【リハーサル室】 <input type="checkbox"/> 舞台と同規模 <input type="checkbox"/> 舞台より小規模 【使用方法】 <input type="checkbox"/> 22時まで使用可能
	<b>展示室</b> 現在：展示ホール 規模：250㎡ 特性：可変レイアウト／室内高さ3m 設備：移動パネル壁	<input type="checkbox"/> 5～8階 <input type="checkbox"/> 1～4階 <input type="checkbox"/> 地下階	<input type="checkbox"/> 750㎡ <input type="checkbox"/> 500㎡ <input type="checkbox"/> 250㎡ <input type="checkbox"/> 200㎡ <input type="checkbox"/> 150㎡	<input type="checkbox"/> 常設展示スペース	【催し物】 <input type="checkbox"/> 和歌山市美術展覧会	【設備】 <input type="checkbox"/> 可動パネルで自由な間仕切り <input type="checkbox"/> 団体などの成果発表スペース	
	<b>駐車場</b> 現在：駐車場 規模：150台 主催者用：38台	<input type="checkbox"/> 5～8階 <input type="checkbox"/> 1～4階 <input type="checkbox"/> 地下階	<input type="checkbox"/> 周辺駐車場と連携 <input type="checkbox"/> 400台 <input type="checkbox"/> 300台 <input type="checkbox"/> 200台 <input type="checkbox"/> 100台（付置義務）		<input type="checkbox"/> スムーズな駐車場出入 <input type="checkbox"/> 観光バス用の乗降スペースの確保		

下線：現在の市民会館の仕様

機能・規模についての意見

図表 4.17 ワークショップ記録：新市民会館の施設

機能		規模		質・性能	
新市民会館 (その他・施設・機能)	<b>練習室</b> 現在：練習室 規模：3室 104㎡、68㎡、64㎡	<b>【室数】</b> <input type="checkbox"/> 8~10室 <input type="checkbox"/> 4~7室 <input type="checkbox"/> ~3室	<b>【規模】</b> <input type="checkbox"/> 50㎡ <input type="checkbox"/> 100㎡ <input type="checkbox"/> 150㎡舞台の広さ <input type="checkbox"/> 250㎡舞台の広さ	<b>【設備】</b> <input type="checkbox"/> ピアノ <input type="checkbox"/> 防音 <input type="checkbox"/> レコーディングスタジオ	<b>【使用方法】</b> <input type="checkbox"/> 市民の文化活動の支援 <input type="checkbox"/> 音楽、絵画、舞踊などで使用 <input type="checkbox"/> 22時まで使用可能
	<b>和室</b> 現在：和室 規模：3室 45.5畳	<b>【室数】</b> <input type="checkbox"/> 4室~ <input type="checkbox"/> 3室 <input type="checkbox"/> ~2室	<b>【規模】</b> <input type="checkbox"/> 24畳 <input type="checkbox"/> 18畳 <input type="checkbox"/> 12畳	<input type="checkbox"/> 更衣室	
	<b>会議室</b> 現在：会議室 規模：4室 14~28人用	<b>【室数】</b> <input type="checkbox"/> 8~10室 <input type="checkbox"/> 5~7室 <input type="checkbox"/> ~4室	<b>【規模】</b> <input type="checkbox"/> 100人 <input type="checkbox"/> 50人 <input type="checkbox"/> 30人	<input type="checkbox"/> 貸し会議室	
	<b>トイレ</b> 現在：トイレ 各ホール：1室（舞台袖1室） 会議棟：2室	<input type="checkbox"/> 現在より多く <input type="checkbox"/> 現在と同数程度 <input type="checkbox"/> 現在より少なくてもいい		<input type="checkbox"/> 多目的トイレの設定 <input type="checkbox"/> 女子トイレブースを多く <input type="checkbox"/> 化粧スペース	
	<b>ロビー</b> 現在：ロビー 広さとさがある大空間 ※高評価			<input type="checkbox"/> お城を眺めるラウンジ <input type="checkbox"/> 喫茶コーナー	
	<b>幼児室（授乳室）</b> 現在：幼児室（授乳室）、母子室 幼児室 大ホール1室 母子室 大、小ホール1室	<input type="checkbox"/> 各ホール1室		<input type="checkbox"/> 親子で鑑賞できる	
	<b>倉庫、ロッカー</b>	<b>【室数】</b> <input type="checkbox"/> 10室~ <input type="checkbox"/> 6~10室 <input type="checkbox"/> ~5室	<b>【規模】</b> <input type="checkbox"/> 50㎡（6×8） <input type="checkbox"/> 20㎡（4×5） <input type="checkbox"/> 6㎡（2×3）	<input type="checkbox"/> 収蔵庫（台本等） <input type="checkbox"/> レンタル倉庫 <input type="checkbox"/> 定期ロッカー	
	<b>搬出入口、通路</b>	<input type="checkbox"/> 11tトラック対応 <input type="checkbox"/> 8tトラック対応 <input type="checkbox"/> 6tトラック対応		<b>【設備】</b> <input type="checkbox"/> 舞台用エレベータ <input type="checkbox"/> 展示室エレベータ	<input type="checkbox"/> 機能的な搬出入動線 <input type="checkbox"/> 重いもの大きなものが運びやすい
	<b>施設案内・催し案内</b>			<input type="checkbox"/> わかりやすい催し案内 <input type="checkbox"/> エントランスの音声案内 <input type="checkbox"/> 使いやすいコントラスト	<b>【障害者等への配慮】</b> <input type="checkbox"/> 磁気誘導ループ設置 <input type="checkbox"/> 誘導用ブロックの設置 <input type="checkbox"/> 災害時の避難路誘導 <input type="checkbox"/> わかりやすい動線表示 <input type="checkbox"/> 段差が見やすい配色

下線：現在の市民会館の仕様

機能・規模についての意見

図表 4.18 ワークショップ記録：新市民会館の附属施設

		機能	規模	質・性能	
付 属 施 設	観光	<input type="checkbox"/> テラス <input type="checkbox"/> 土産物		<input type="checkbox"/> お城を眺めるテラス <input type="checkbox"/> 和歌山城城郭を鑑賞できる観光者の立ち寄りスポット	
	商業	レストラン・カフェ <small>現在：レストラン喫茶 テーブル席：86名 月曜定休／営業時間 10:00～17:00</small>	<input type="checkbox"/> 4店以上 <input type="checkbox"/> 2～3店 <input type="checkbox"/> 1店	<input type="checkbox"/> 100名～ <input type="checkbox"/> 80名 <input type="checkbox"/> 50名 <input type="checkbox"/> ～30名	<input type="checkbox"/> 無休（休館日も営業） <input type="checkbox"/> 夜間営業（終演時営業）
		<input type="checkbox"/> 各種ショップ／本屋／花屋 <input type="checkbox"/> マーケット <input type="checkbox"/> コンビニ			
	交流	<input type="checkbox"/> フリースペース <input type="checkbox"/> ランニングステーション <input type="checkbox"/> 自転車貸し出しステーション	<input type="checkbox"/> 500～800人	<input type="checkbox"/> 学生などが無料で使えるスペース	
外 構 ・ 景 観 な ど	アプローチ			<input type="checkbox"/> エントランススペースの確保 <input type="checkbox"/> 魅力的なアプローチ	
	屋外広場 <small>現在：緑地広場 成長した植栽 ※高評価</small>	<input type="checkbox"/> 現在より多く <input type="checkbox"/> 現在と同程度 <input type="checkbox"/> 現在より少なくてもいい <input type="checkbox"/> お城に緑があるので不用		<input type="checkbox"/> 芝生／前庭／木かげのベンチ <input type="checkbox"/> 噴水があり、小さな子どもが遊べる広場 <input type="checkbox"/> 市民が集え「ぶんだら」「よさこい」ができるようなスペース <input type="checkbox"/> 野外ステージ <input type="checkbox"/> 散歩で市民会館に立ち寄れる気軽さ	
	隣接施設との連携			<input type="checkbox"/> 和歌山城公園との連続性 <input type="checkbox"/> ロイネットホテルとのオープンな連続性	
	建物			<input type="checkbox"/> 大人数を収容するホール等は防災上、下層階に配置 <input type="checkbox"/> 薬学部とは渡りつなぐ <input type="checkbox"/> 薬学部と市民会館の複合ビル <input type="checkbox"/> 建物を地下に、高さを制限 <input type="checkbox"/> 人が集まるランドマーク	
	景観・デザイン	<input type="checkbox"/> 天守閣や周辺建物より低く		<input type="checkbox"/> 和歌山らしさ、地域性、歴史性を考慮 <input type="checkbox"/> 紀州材にこだわった木製 <input type="checkbox"/> 温かみある木質の手すり <input type="checkbox"/> 外観ライティング	
	公共交通機関の充実			<input type="checkbox"/> 市民は自動車利用が前提条件 <input type="checkbox"/> エントランス直結の送迎乗降場所 <input type="checkbox"/> 屋根のあるバス停 <input type="checkbox"/> 乗降等、入口に名称を示す音声・点字 <input type="checkbox"/> 人が集まりやすい公共交通	
考え方	市民会館設置			<input type="checkbox"/> 見に行くところだけでなく、文化を育てる市民文化を支える施設 <input type="checkbox"/> プロがやる舞台で、発表すること、鑑賞することが必要	

下線：現在の市民会館の仕様



#### 4.5. 市民発信の意見

市民から発信された意見（嘆願書等）を整理します。

##### ■新たな市民会館について

- 他施設と競合しない中規模 800 人程度の優れた音響をもつ音楽・芸術専用ホール
- 最新設備の多目的ホール
- 練習室、スタジオ、リハーサル室、展示室、駐車場の確保
- 障がい者・子どもの利用しやすい会館
- 11 トンロングトラックの入る搬入口

市民から発信された意見として、3万5千人の署名を集めた「新音楽ホール建設 嘆願書」では、県民文化会館などの他施設と競合しない中規模 800 名程度のホールで、世界的な音楽演奏家にも満足して頂ける優れた音響をもつ音楽・芸術専用ホールの建設が意見として示されています（図表 4.19）。

市民会館を日頃利用している団体が集まって結成した「和歌山市民会館について考える会」からは、「和歌山市民会館についての要望書」として、多種類の催事に対応出来る最新設備の多目的ホールや、芸術創造のための練習室・スタジオ・リハーサル室、多彩な芸術作品を発表・展示できる展示室、市民ホール、駐車場等の確保、障がい者・子どもの利用しやすい会館、ゆとりある搬出入口の整備などが意見として示されています（図表 4.20）。

図表 4.19 「新音楽ホール建設 嘆願書」（抜粋）

1. 県都にふさわしい文化ゾーンに立地し、文化センターの役割をはたすこと。
2. 良質な音楽芸術を提供するホールであり、優れた演奏家がこぞって来訪を求める優れた音響とサービスを提供する施設であること。
3. 行政の企画段階に音楽・文化関係者が参画し、署名者の意見が企画に反映されること。

署名内容（35,728名の署名 平成27年3月5日現在）

1. 県都和歌山市にふさわしい良質な音楽・芸術（パフォーマンス・アーツ）専用ホールとなること。
2. すでに和歌山市にある和歌山県民文化会館、ビック愛、アートキューブなどの施設と重複しない規模（中規模、収容人員 800 名）であること。
3. 和歌山音響芸術演奏家および音楽ファンの期待に応え、かつ将来来演される世界的な音楽演奏家にも満足いただける優れた音響をもつ音楽・芸術（パフォーマンス・アーツ）専用ホールであること。

日付：平成 27 年 3 月 9 日

宛先：和歌山市長宛

発信：和歌山市に新音楽ホールをつくる会

（代表 2 名、事務長 1 名）

**図表 4.20 市民意向：和歌山市民会館についての要望書（抜粋）**

幅広い文化団体・市民に歓迎される市民会館の建設をしてください。

- ・ 多種類の催事に対応できる最新設備の整った適正規模の多目的ホールを建設してください。
- ・ 芸術創造のための練習室、スタジオ、リハーサル室をつくってください。
- ・ 多彩な芸術作品を発表、展示できるスペースをつくってください。
- ・ 中規模ホール以外に多彩な催しに利用できる「市民ホール」をつくってください。
- ・ 障がい者・子どもの利用しやすい会館にしてください。
- ・ 無料もしくは安い料金の大規模な駐車場を併設してください。
- ・ 11 トンロングトラックの入る使い勝手の良い搬入口を作ってください。
- ・ その他、各団体からの具体的要望をしっかり受け止めて建設に反映させてください。

日付：平成 27 年 4 月 14 日

宛先：和歌山市長宛

発信：和歌山市民会館について考える会

（世話人 7 名、呼びかけ団体・個人 44）

この他、市民会館の建設に関連して、伏虎中学校跡地の利用についても検討していく過程について市民からの意見が示されています。

**図表 4.21 市民意向：伏虎中学校跡地利用に関する要望書（抜粋）**

- ・ 市民ワークショップ開催による跡地利用方法の検討
- ・ 伏虎中学校跡地活用基本構想策定協議会への過半数の市民の参画
- ・ 市民主体による和歌山市再生協議会の設立

日付：平成 27 年 7 月

宛先：和歌山市長宛

発信：みんなで伏虎中跡地を提案する市民の会

（代表世話人 1 名、世話人 5 名）

#### 4.6. 調査等からの市民ニーズの分析

市民アンケート調査等から現在の市民会館に対する意見と新しい市民会館についての市民ニーズを分析します。

図表 4.22 市民の意向のまとめ

	市民の意向 (P10~P32) のまとめ (再掲)	
	現在の市民会館	新たな市民会館
市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「音楽」「演劇等」「講演会」「展覧会」は市民会館、県民文化会館を多く利用</li> <li>○ 「音楽」「演劇等」は、県民文化会館の利用者が若干多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新市民会館に必要なものは「駐車場」「バリアフリー」「鑑賞しやすい座席」「飲食・喫茶機能」が多い</li> <li>○ メインホールは「多目的」「1,000席以上」が多く、サブホールも「多目的」が多い</li> </ul>
市政世論調査	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6割以上が市民会館の移設に賛成</li> <li>○ 市民ホールは多目的なものが求められている</li> <li>○ 「駐車場」「バリアフリー」「飲食・喫茶機能」「鑑賞しやすい座席」を求められている</li> </ul>
市民会館建替えに関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な現在の市民会館の満足度は、満足・やや満足・普通が85.7%</li> <li>○ 小ホール、練習室を利用する利用者・団体が多い</li> <li>○ ホールの公演コマ来場者は300~800名が最も多い</li> <li>○ 練習はほとんどが市民会館以外を利用し、その多くがコミュニティセンターを利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建設で重要なものは「駐車場の整備」「音響性能」「あらゆる人に優しい施設」「鑑賞しやすい座席」が多い</li> <li>○ ホールの席数は「800~1000席」が多い</li> <li>○ メインホール以外に必要なものは「飲食施設」が最も多い</li> </ul>
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>好評：ゆとりあるロビー・ホワイエ／利用しやすい規模</li> <li>不評：駐車場が不便／動線が複雑／老朽化／トイレが不便</li> </ul> </li> <li>○ 運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>好評：誰もが多目的で利用しやすい／料金が安い</li> <li>不評：施設案内が少ない／情報発信が少ない／専門スタッフが不在</li> </ul> </li> <li>○ 立地 <ul style="list-style-type: none"> <li>好評：駅近／前庭の緑地</li> <li>不評：敷地周辺との連携がない／周辺にくつろげる場所がない</li> </ul> </li> </ul>	<p>ソフト面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全市的な文化振興の方針、各施設の役割分担が必要</li> <li>○ 運営には、市民や団体が関われる仕組みや専門スタッフの配置が必要</li> <li>○ 文化振興のため人材発掘・育成が必要</li> <li>○ 所用や目的のない人も立ち寄れる施設</li> </ul> <p>ハード面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰もが使いやすい施設、設備の整備</li> <li>○ 最新機能を搭載した施設、設備の整備</li> <li>○ 大きさ重さに対応した搬入、ストック機能</li> <li>○ お城を活かした施設、設備の整備</li> <li>○ 駐車場の確保、公共交通の確保</li> <li>○ 市民会館に付属する機能は観光、飲食、物販、交流、広場、周辺との連携</li> </ul>
市民発信の意見	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他施設と競合しない中規模800人程度の優れた音響をもつ音楽・芸術専用ホール</li> <li>○ 最新設備の多目的ホール</li> <li>○ 練習室、スタジオ、リハーサル室、展示室、駐車場の確保</li> <li>○ 障がい者・子どもの利用しやすい会館</li> <li>○ 11トンロングトラックの入る搬入口</li> </ul>

### 会館として必要な機能

「**駐車場の確保**」「**バリアフリー、鑑賞しやすい座席等の誰もが快適に鑑賞できる機能の向上**」、「**音響性能等の技術的な機能の維持・充実**」が求められています。

### ホールに必要な機能

800席～1,000席規模の**最新設備の整った多目的ホール**、サブホールとして**市民ホール**が求められています。また、他施設と重複しない規模の**音響に優れたホール**が求められています。

### ホール以外に必要な機能

「**レストラン、カフェ等の利用者自身の利便性を高める機能**」が求められています。その他「**練習室**」「**リハーサル室**」「**展示室**」「**ランニングステーション**」などが多くの方に求められています。また、**大型トラック（11トンロング）での搬出入**が可能となる**バックヤードや搬路の確保**が求められています。

屋外では、芝生などの緑に覆われた広場を設置し、屋外ステージや子供が遊ぶ場所、くつろげる木陰のベンチなどの整備が求められています。

#### 4.7. 市民ニーズからの課題

調査等による市民ニーズの分析から、課題を示します。

### ■ 周辺施設と連携した駐車場の確保の検討

全ての調査の結果から、充足した台数の駐車場確保が求められています。駐車場施設が周辺に分布する伏虎中学校跡地では、それらとの連携も図りながら駐車場を確保していくことが求められます。

### ■ より多くの人が利用できる施設・仕組みの検討

市民アンケートやワークショップでは、駐車場の充実、施設のバリアフリー化、鑑賞しやすい座席の設置を求める意見などがありました。ホールに対しては、多目的なホールを求めています。特に、施設のバリアフリー化に関しては、段差の解消、駐車場から施設内まで雨に濡れない工夫、磁気ループの整備や、コンベンション機能としても求められる字幕表示や電光掲示板、点字や音声による案内の充実など具体的な例をあげてユニバーサルデザインの充実を求める意見が多くありました。市民会館がより多くの人に利用される施設となるため、様々な人達が多様なシーンに使える仕組みの検討が求められます。

### ■ 必要に応じたホール規模の検討

市民会館利用者アンケートで、望ましいホールの席数を「800～1,000席」とする意見が多くなっていることから、現在の1,406席の大ホールの縮小、656席の小ホールの拡大など、2つのホールの機能を統合したメインホールの規模の検討が必要です。

### ■ 市民の意見の把握、ニーズに合った機能確保の検討

鑑賞や発表などに求められるホールの機能や、創作活動や練習などのニーズに合った諸室、これまでの市民会館にはなかった「ランニングステーション」や「レンタルサイクル」「イベント広場」などの機能の検討が求められています。

### ■ 周辺施設と連携した飲食施設の確保の検討

市民会館利用者の多くは、レストラン・カフェ等の飲食機能の充実を求めており、その要望はホールに次いで多くなっています。